「弾く、聴く、読む」クラシックギター愛好家のために

ギタードリーム

Guitardream

NO. 14

DEC-JAN 2008

掲載楽譜収録!! CD付

今月の楽譜

- ジョプリン／ソラース
- R=コルサコフ／インドの歌
- パスクアル／メロディー第3番
- 京都民謡／竹田の子守歌（新12の歌より）
- 佐藤弘和／ト長調の3つの小品
- メルツ／葬送行進曲
- バッハ／アリオーソ（2題）
- 呉田軽穂／赤いスイートピー

フェスティバル・レポート

美山、ヘルスブルック

話題のアーティスト

今村泰典

クラブ・マリアデュオ 今日も元気、ギターが楽しい

三本木ハマ子

ギタードリーム
コンペティション 2008
結果発表

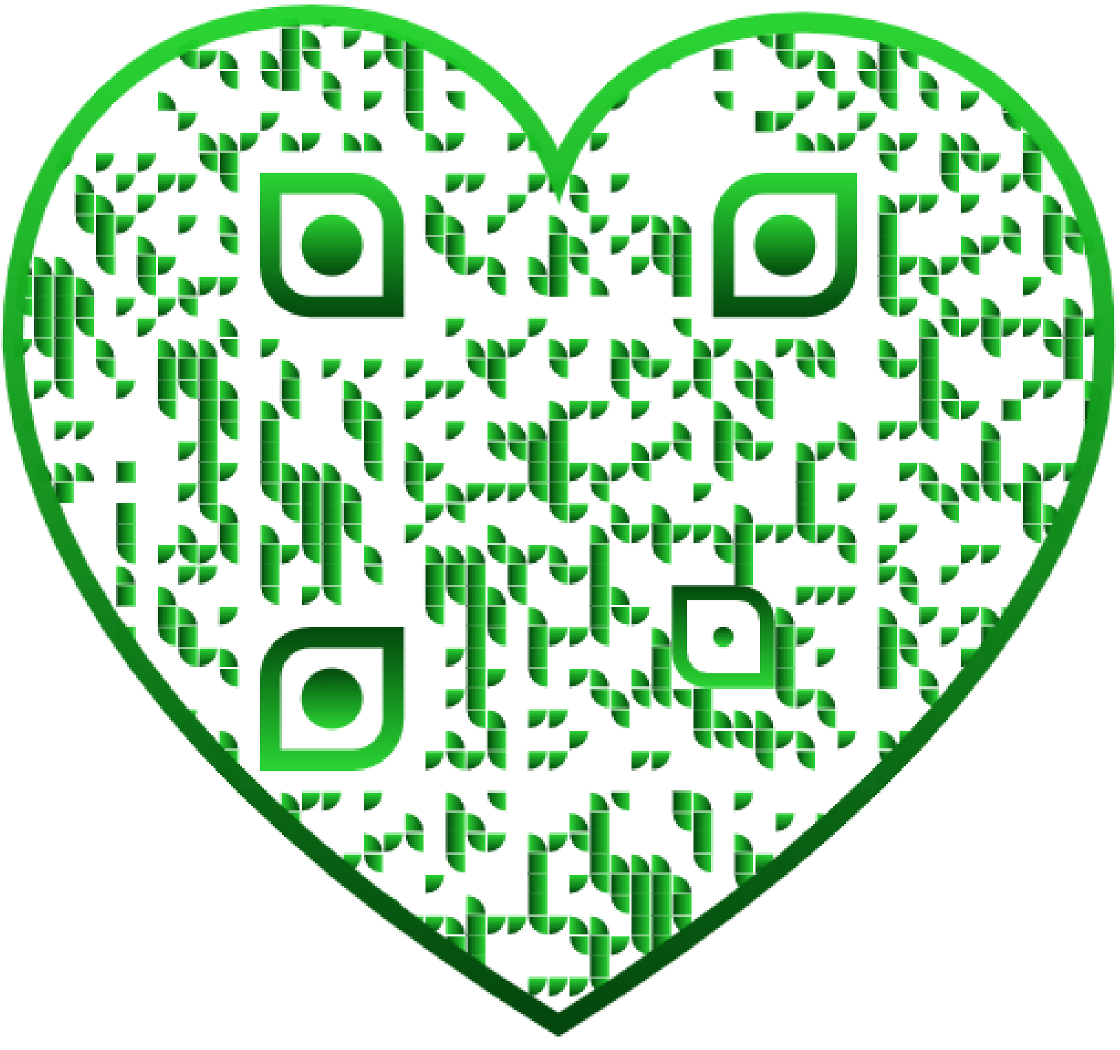
特別企画 **河野賢没後10周年**

二橋潤一「**風の詩**」一挙10頁掲載

河野賢先生に捧ぐ

マヌエル Manuel Babiloni バビロニ

HOMA dream



CD 収録曲目一覧

TOTAL: 70'50

Title	Composer / Arranger	No.	Time	曲名	作曲・編曲
Solace	**Scott Joplin - Noriyasu Takeuchi**	**1**	06'07	ソラース	**ジョプリン〈竹内永和・編曲〉**
Chanson Indoue	**N. Rimsky-Korsakov - Noriyasu Takeuchi**	**2**	05'46	インドの歌	**R= コルサコフ〈竹内永和・編曲〉**
Etude no.2	**Hirokazu Sato**	**3**	03'30	練習曲第 2 番	**佐藤弘和**
Der rothe Sarafan	**J.K. Mertz**	**4**	02'22	赤いサラファン	**メルツ**
La Romanesca	**J.K. Mertz**	**5**	01'32	ラ・ロマネスカ	**メルツ**
Lullaby of Takeda	**Franz Dölle - Ippo Tsuboi**	**6**	03'18	竹田の子守歌	**京都民謡〈壺井一歩・編曲〉**
Three pieces in G Major	**Hirokazu Sato**			ト長調の 3 つの小品	**佐藤弘和**
1. Menuet		**7**	01'24	1. メヌエット	
2. Promenade		**8**	01'01	2. プロムナード	
3. Dance of Chinese Doll		**9**	01'14	3. 中国人形の踊り	
Presque Melodie no.3	**Josep Pascual**	**10**	01'41	メロディー第 3 番	**パスクアル**
No.17 from 24 Leçons of Method op.27	**F. Carulli**	**11**	01'55	24 のデュエットより第 17 番（ギター教則本 op.27 より）	**カルッリ**
Trauer-Marcsh (Nänien. Trauerlieder)	**J.K. Mertz**	**12**	04'53	葬送行進曲	**メルツ**
Chanson de vent (In Memorium of Maestro Masaru Kohno)	**Jun-ichi Nihashi**	**13**	07'07	風の詩（河野賢先生に捧ぐ）	**二橋潤一**
Arioso (from Cantata no.156)	**J.S. Bach - Ippo Tsuboi**	**14**	02'31	アリオーソ（カンタータ第 156 番）	**バッハ〈壺井一歩・編曲〉**
Arioso (from Cembalo Concerto no.5 BWV1056)	**J.S. Bach - Ippo Tsuboi**	**15**	02'50	アリオーソ（チェンバロ協奏曲第 5 番）	**バッハ〈壺井一歩・編曲〉**
Red Sweet Pea	**Karuho Kureta - Nobuyuki Hirakura**	**16**	03'28	赤いスイートピー	**呉田軽穂〈平倉信行・編曲〉**
White Monster	**Yoichi Sato**	**17**	04'20	白魔神	**佐藤洋一**
Menuet (from Opera Alcina HWV34)	**G.F. Handel - Takashi Nagatsuka**	**18**	02'06	メヌエット（オペラ「アルチーナ」HWV34 より）	**ヘンデル〈永塚 節・編曲〉**
Milonga del Crepusculo	**Noriyasu Takeuchi**	**19**	04'52	黄昏のミロンガ	**竹内永和 GD コンペティション 2008 ソロ部門最優秀賞**
Into the woods, to look for the blue flower	**Hirokazu Sato**	**20**	08'05	森の中へ青い花を探しに	**佐藤弘和 GD コンペティション 2008 3 重奏部門最優秀賞**

Player (Guitar) :

Noriyasu Takeuchi (V. Bedikian 1979) **1, 2**
Hirokazu Sato (M. Nobe 2000) **3-5, 7-9, 11**
Hirokazu Sato (M. Nobe Terz 1998) **12**
Sachiko Miyashita (Arcangel 2003) **6**
Manuel Babiloni (Ramirez III 1992) **10**
Koichi Kezuka (M. Kohno 1995) **11-15**
Nobuyuki Hirakura (M. Lopez 2004) **16**
Osamu Hirasa (H. Hauser II 1976)
& Yoichi Sato (J. Rubio 1974) **17**
Classical Guitar Club of UEC **18**
Kenpo Kanbe (Th. Humphrey 2006) **19**
Kodama Ensemble **20**

演奏者（使用ギター）：

竹内永和（V. ベディキアン 1979）**1, 2**
佐藤弘和（野辺正二 2000）**3-5, 7-9, 11**
佐藤弘和（野辺正二テルツ 1998）**12**
宮下祥子（アルカンヘル 2003）**6**
M. バビロニ（ラミレス III 1992）**10**
毛塚功一（河野賢 1995）**11-15**
平倉信行（M. ロペス 2004）**16**
平佐 修（ハウザー II 1976）
＆佐藤洋一（J. ルビオ 1974）**17**
電気通信大学古典ギター部 **18**
神辺憲穂（Th. ハンフリー 2006）**19**
こだまアンサンブル **20**

広告インデックス

IGP ………………………… p.28
ギターショップ・アウラ…… 口絵 3
今井勇一…………………… p.24
Ut Orpheus Edizioni ………… p.47
Editions Orphee …………… p.24
La Guitarreria ………… p.32
キング・インターナショナル………… 表 4
黒澤楽器店…………………… 口絵 1
黒澤澄夫・哲郎……………… p.33
ジーアンドエム …………… p.47
Chanterelle Verlag………… p.33
庄司清英…………………… p.24
マーティン・フォーゲル …… 表 3
ショップ松下＆ギター教室 p.33
Musikverlag Doblinger……… p.33
宮下祥子…………………… p.33
ミューズ音楽館 …………… p.24
ムジークゾリステン ……… p.47
メディアカーム …………… p.24
Mel Bay ……………………… 表 2
山下暁彦…………………… p.47
吉住和宏…………………… p.24
りとるかりん …………… p.59

次号の発売日は 2009年2月5日〈木〉です。

ギタードリームは全国有名楽器店、ギター専門店でお買い求めできます。
書店では取り扱っていません。入手が難しい場合は弊社から直接購入することができます。
右記弊社住所、Fax により申し込むか、弊社ホームページから申し込んでください。

Guitardream

ギタードリーム No.14 2008年 12/1 月号
2008年 12月 5日（第 3 巻第 6 号）定価 1,470 円（税込み）
ISBN978-4-86247-714-9 JAN4560184087144

編集・発行人： 菅原 潤
発行所： 株式会社ホマドリーム
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 5-21-6-101
TEL: (03)6303-6151 FAX: (03)5951-3555
E-mail: info@homadream.com
URL: www.homadream.com
印刷・製本： 株式会社 平河工業社
表紙・紙面デザイン： サトウデザイン室
写真： tama
楽譜浄書： 神野浄書技研、菅原 潤
音源録音・編集： 毛塚功一

(C) 無断転載、複製を禁ず JASRAC 0812533-801
(C) 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo. All Rights Reserved. Printed in Japan.

Cool Arrangements by Noriyasu Takeuchi

14 竹内永和のクール・アレンジメンツ

東京都生まれ。早稲田大学文学部卒業。1980年、第7回ギターコンクール第1位。1982年、第25回東京国際ギターコンクール第3位。レオ・ブローウェル、オスカー・ギリアのマスタークラスに参加し研鑽を積みコンサート活動を開始。アレンジャーとしても、現代ギター誌に連載を始め、スウェーデンのギタリスト、セルシェルの2枚のビートルズ・アルバムにアレンジを提供（ドイツ・グラモフォンよりワールド・リリース）。下森佳津美とのデュオ・シルフィードでの活動の他、ヴァイオリン、フルート、コントラバス等との共演多数。これまでにギターを故石月一匡、竹藤嘉の各氏に師事。

ソラース

スコット・ジョップリン作曲のゆったりとしたナンバーで、名曲《エンターテイナー》とともに映画「スティング」で効果的に使われ人気を博した。

ジョップリン(1868-1917)はラグタイム王として知られ、実際数多くのラグタイム作品を残したが、他のリズムを用いた曲もあり、この《ソラース》はメキシカン・セレナーデの副題を持ち、ハバネラ的なリズムで書かれている。この曲が生まれたのは、何と1909年！　今から100年前の曲だが、古さを感じさせず、優しさに満ちたメロディーがとても美しい。

この曲が使われた映画「スティング」は、1930年代のシカゴを舞台にした物語で、ジョップリンの音楽がピタッとはまり、独特の雰囲気を作り出すことに成功している(名匠ジョージ・ロイ・ヒル監督)。

章仕立てでストーリーが展開していくという、一種紙芝居的な要素を持ち込んで、時代の香りを上手く醸し出し、演出、美術、衣装などすべてがパーフェクトにはまって、アカデミー賞7部門受賞に輝いた。

物語は、引っ掛け屋(ペテン師)と老獪な伝説の賭博師が、大物ギャング相手に大仕掛けのギャンブル詐欺を仕組むというもの。緻密な計画が進んでいく過程で、どこまでがペテンでどこからがリアルなのか見分けられなくなる程の巧妙な芝居には、うなるばかり。

ポール・ニューマンとロバート・レッドフォードのコンビネーションも最高であった。そのコンビのリーダー格、アメリカの誇る名優ポール・ニューマンは、2008年9月26日に亡くなった(享年83歳)。

ニューマンはハリウッドスターの中でも、その男性的な魅力が際立った存在であったが、愛妻家として有名で、妻の女優ジョアン・ウッドワードとは、おしどりカップルとして最後まで添いとげた。また大の車好きで、実際レーサーとしてル・マンのレースで2位の実績を残している。オスカーには何度もノミネートされたが、86年の「ハスラー2」で念願の主演男優賞を獲得した。

インドの歌

2008年は、ニコライ・リムスキー＝コルサコフの没後100年ということで、さまざまなコンサートが開催されたが、ギター編曲でも何か残しておこうということで、オペラ「サトコ」の中から有名な《インドの歌》をアレンジした。

リムスキー＝コルサコフと言えば《シェヘラザード》が有名だが、オペラ作品も数多く残しており傑作が多い。《熊ん蜂の飛行》で知られる「皇帝サルタンの物語」、「雪娘」「金鶏」そしてこの「サトコ」など。

「サトコ」は、ノヴゴロド地方に伝わるグースリ弾きの物語。

海の王の娘ヴォルホヴァの予言通り、湖で3匹の金色の魚を釣り上げた主人公のサトコ(グースリ弾き)は、港の市場で世界中の商人から祝福を受ける。

その祝福の宴会の中で、インドの商人によって歌われるのがこの《インドの歌》(第4場)。この美しいアリアはゆったりとした流れを持ち、エキゾチックなスケールが独特の雰囲気を醸し出す。

物語はその後、大航海物語へと発展し、海の王の海底王国でサトコとヴォルホヴァは結ばれるが、婚礼のクライマックスで出現した聖なる神のお告げにより、2人は王国を後に地上へと向かう。

そして、サトコは地上に残してきた妻と再会して仲睦まじく暮らし、王女ヴォルホヴァは神のお告げに従い、小川に身を変え民の繁栄を見守る。

01 付録CD トラックNo.

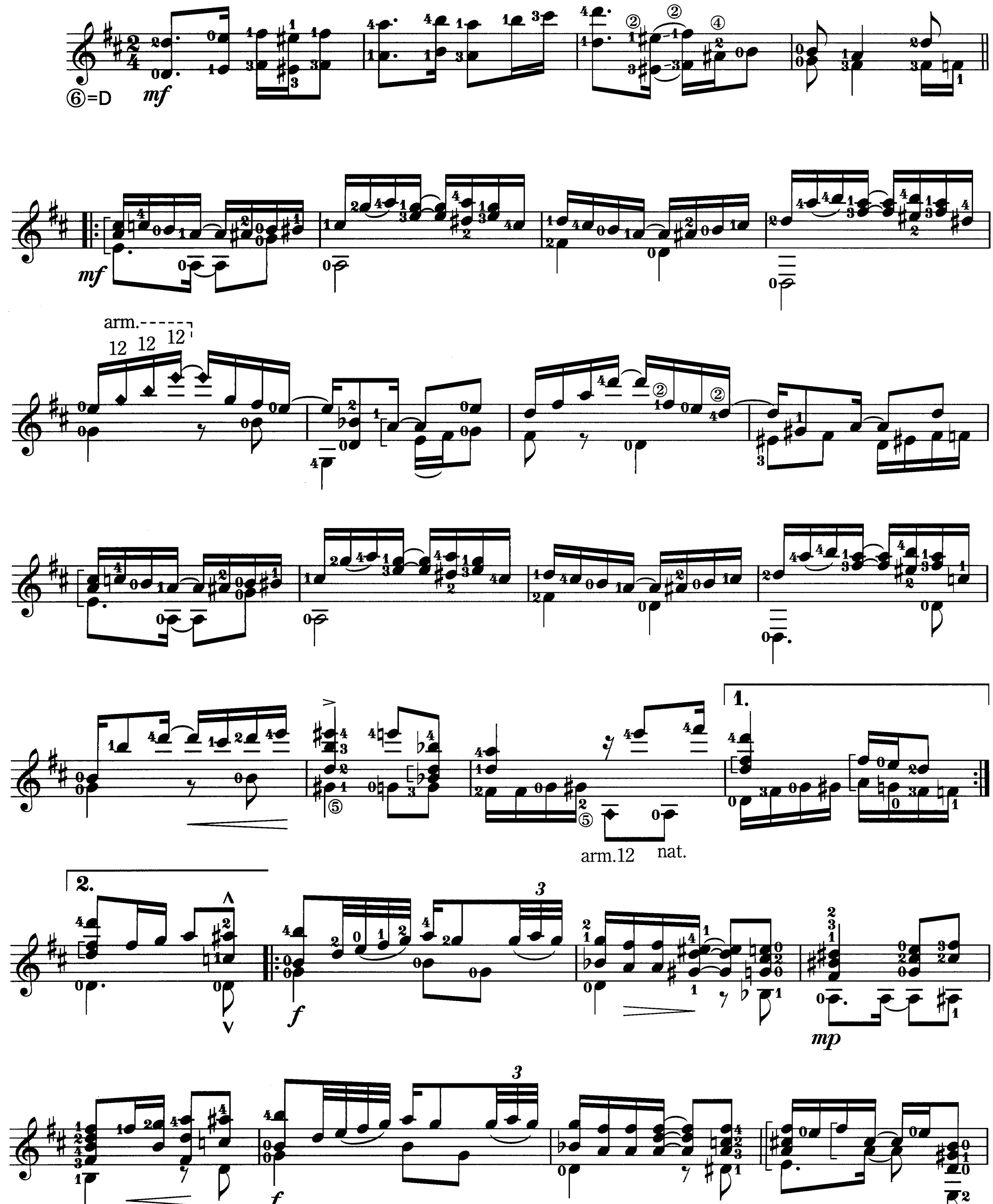
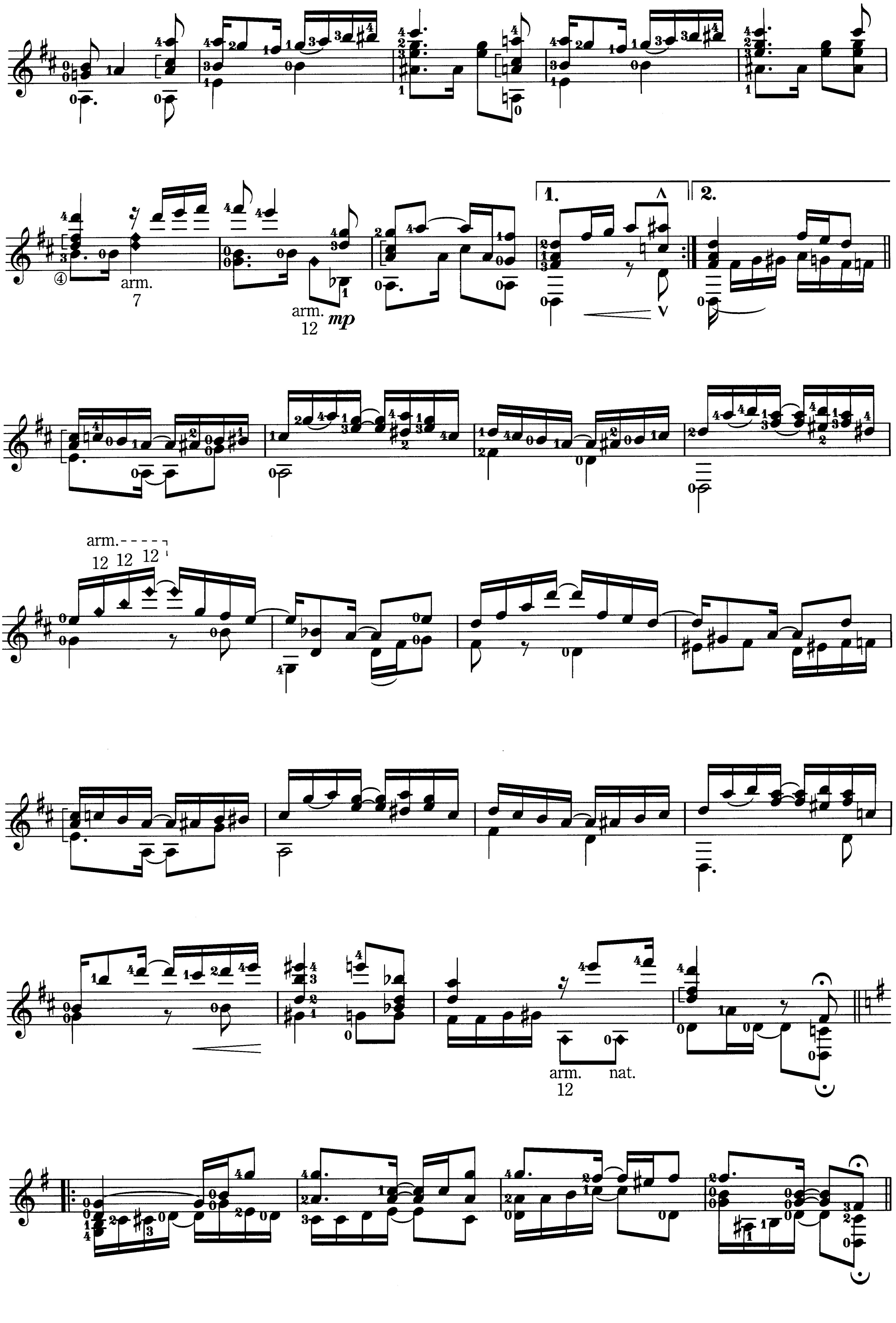
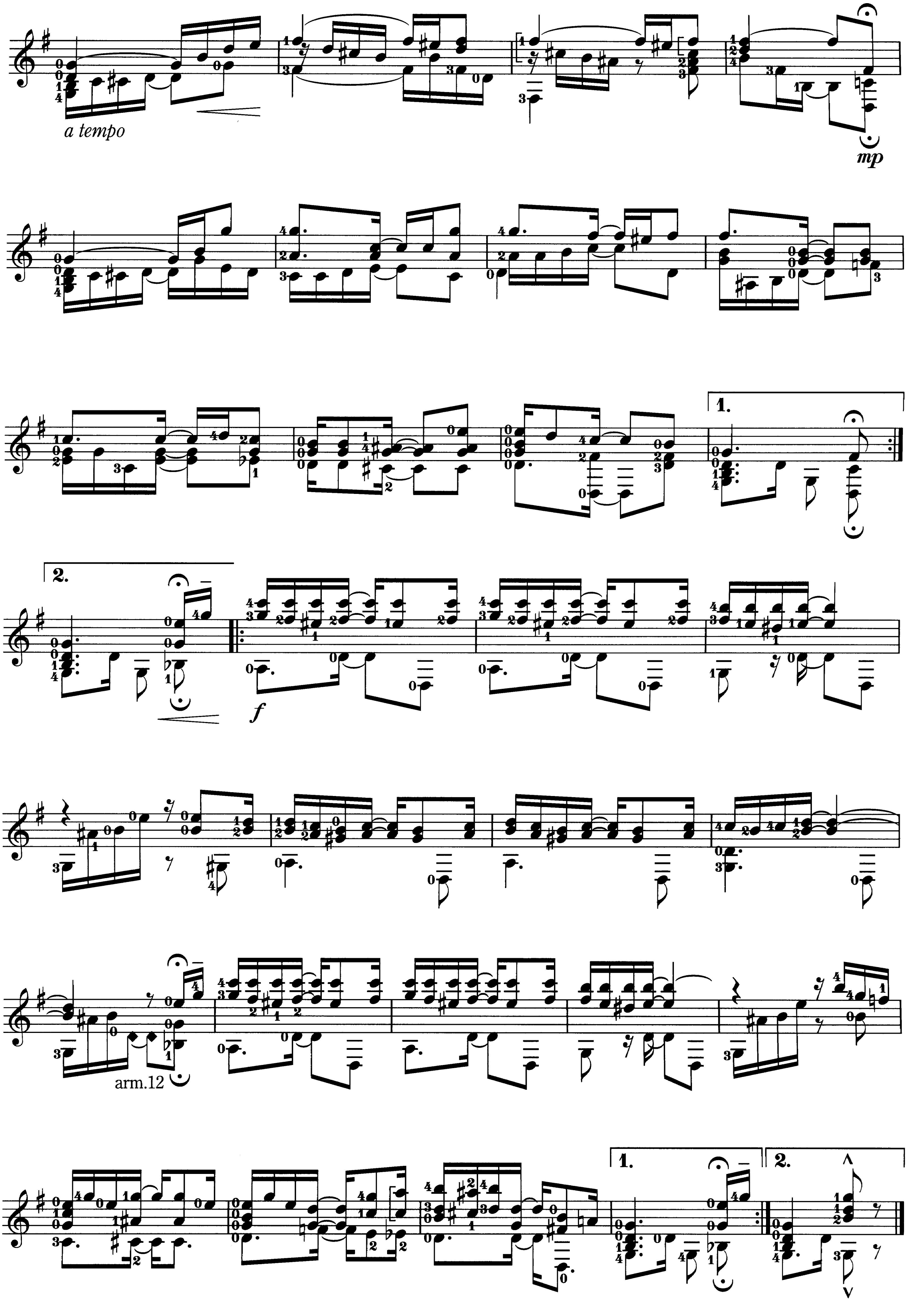
SOLACE

ソラース

a mexican serenade

Scott Joplin (1909)

arr. by Noriyasu Takeuchi

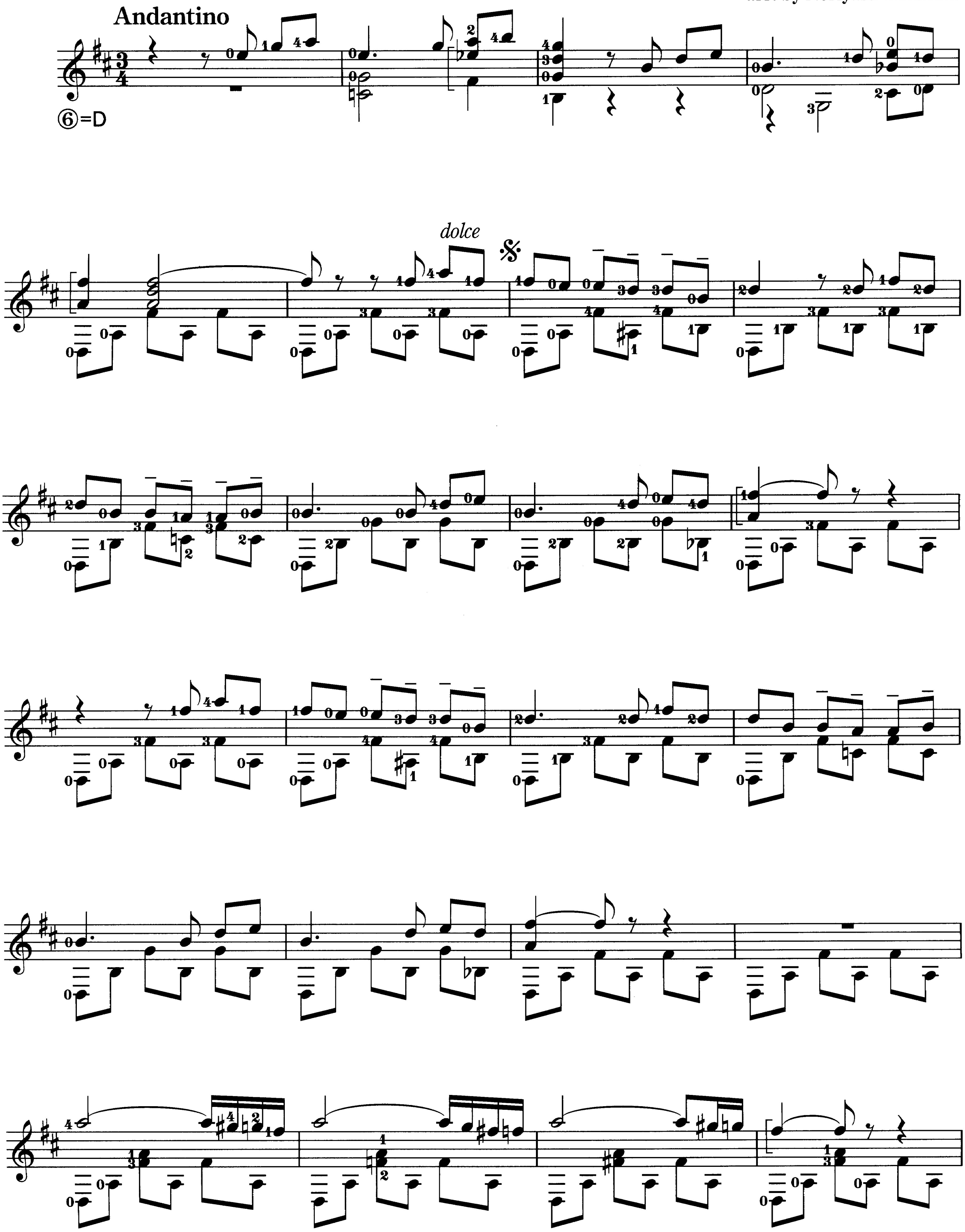
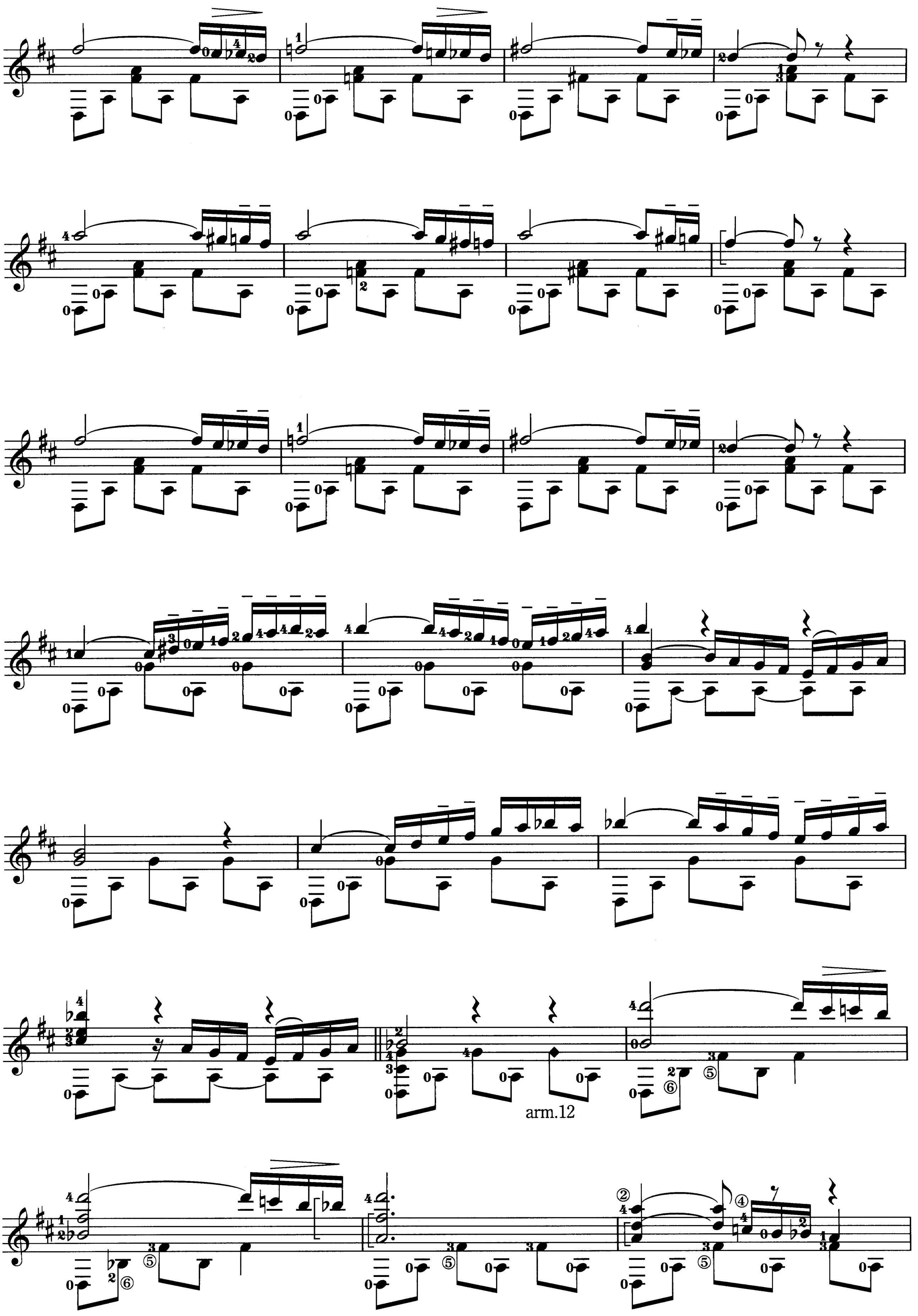
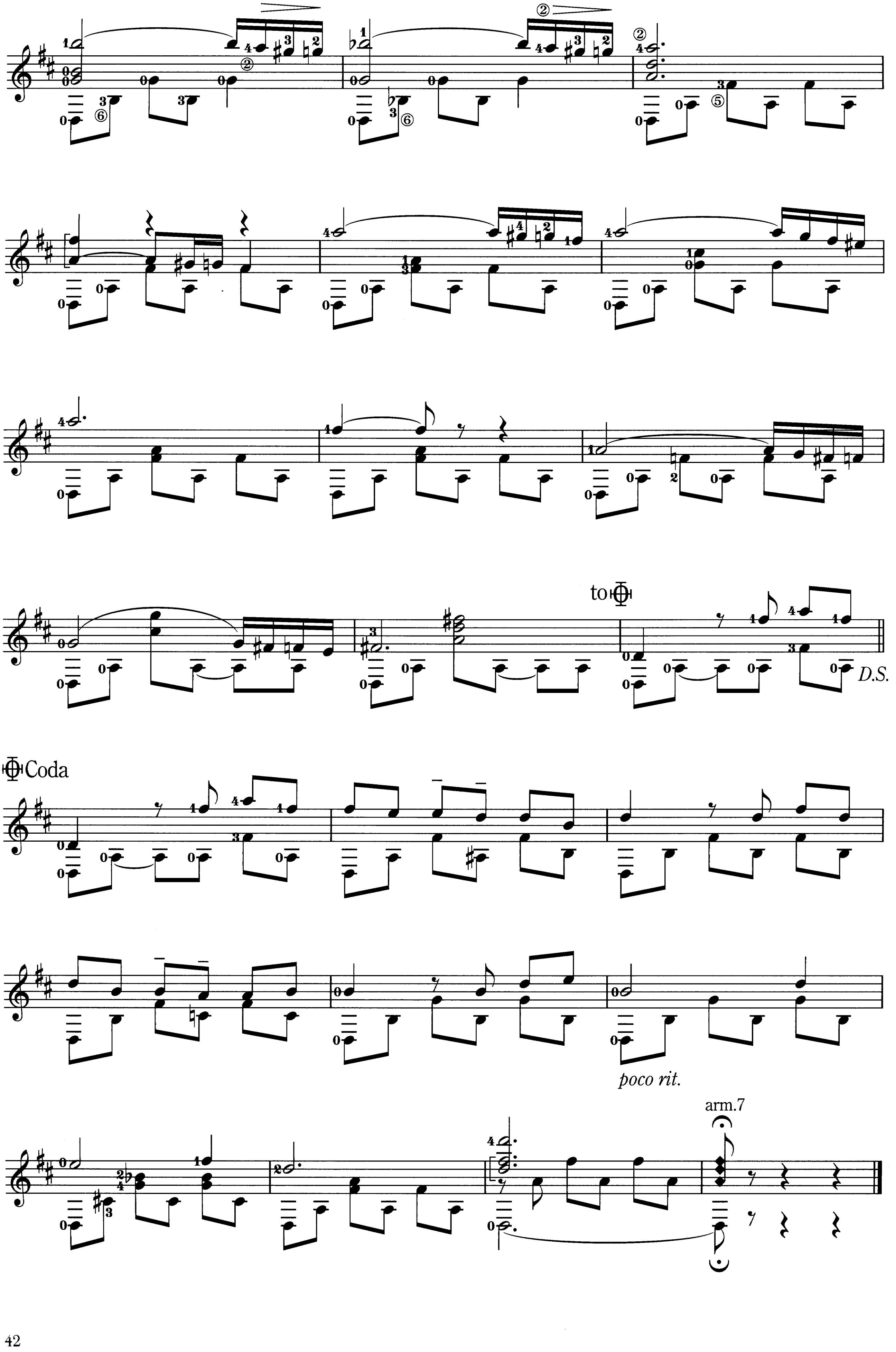
Very slow march time

© Copyright 1941 by PEER INTERNATIONAL CORP.
International Copyright Secured. All Rights Reserved.
Riights for Japan administered by PEER MUSIC K.K.

arm.
7
arm.
12
mp
1.
2.
arm.
12 12 12
arm.
12
nat.

a tempo
mp
1.
2.
f
arm.12
1.
2.

付録CD トラックNo. 02

Chanson Indoue
from Opera "Sadko"

インドの歌

Nikolai Rimsky-Korsakov (1844-1908)

arr. by Noriyasu Takeuchi

arm.12

to
D.S.
Coda
poco rit.
arm.7

新マエストロ養成講座

Text by IKUO HASEGAWA
長谷川郁夫

日大芸術学部ギター科卒業。ギターを故・芳志戸幹雄、建孝三、吉田佳正他の諸氏に師事。1982 年全日本ギターコンクール重奏部門第 1 位。1988 年 G.L.C. 学生ギターコンクール大学生の部第 2 位などを受賞。独奏のほか、ギター 2 重奏及び歌や他楽器とのアンサンブル、また 19 世紀～ 20 世紀初頭にかけての当時の楽器を使った演奏なども行なう。武蔵村山・立川・昭島市（東京）にて「はせがわ音楽教室」を主宰。サークル指導、合奏における指揮なども行なう。

第1回　メルツ《かっこう》より

今回紹介するメルツの小品集「かっこう」は今から150年以上前、19世紀の中頃に出版された曲集です。「音楽のパノラマ」という副題が添えられ、欧米の民謡やオペラの一節などやさしくアレンジされた小品が136曲も入っていました。ギターが弾けるようになったら流行りの曲や大好きな歌のメロディーなどを弾いてみたくなるのは人情というもの。いわゆるギター曲だけではなく、アレンジによってさまざまな曲をつま弾き、楽しめるのはギターの大きな魅力ですが、それはずっと昔のギター愛好家にとっても同じだったんでしょうね。

赤いサラファン

ロシア民謡として日本語でも歌われています。サラファンとは長いスカートのようなロシアの女性の民族衣装のこと。娘がいつか結婚する日のために母が赤いサラファンを縫っていますが、娘はまだ独身を謳歌したいのでいらないと言います。すると母は「いつまでそうやっているつもりだい？　若さなんてあっという間のものだよ」と諭します…という歌詞ですね。調べてみると1830年頃の歌ということですから、メルツがアレンジした当時としては最新の流行歌だったのでしょう。

曲の特徴をつかもう

この曲の中ではメロディーが跳躍するシーンが多く、大きな特徴となっています。音形に合わせたダイナミクスを考えると跳躍音形はアクセントとなりますが、この曲では、たとえば[9]には dolce（甘く）と書かれていますから、キツいアクセントにしないでということでしょうね。全体に柔らかめなイントネーションで、4小節分くらいを見渡しレガートにおおらかに弾きましょう。

もう1つの特徴は長調と短調が頻繁に入れ替わるところです。曲に色彩感が加わって素敵ですね。変化した調のそれぞれの気分を作ることが大切です。長調の部分は朗らかな感じ、軽やかな感じなど。短調の部分はどうしても「短調＝暗い」というステレオタイプに陥りやすいですが、むしろ甘い感じ、柔らかい感じ、あるいは「大切なことを言う感じ」などと考えるとピッタリくる場合があると思います。

終わりのワンポイントアドバイス

曲の最後を見ると、残り4小節半とかなり早いところに *rit.* の記号が出てきますが、すぐに反応し遅くしてしまう人が多いようです。「だんだん○○する」という記号の場合、書かれたポイントではまだ何も起こっていない、つまりここから *rit.* を意識しはじめましょうととらえるべきです。

ラ・ロマネスカ

副題に16世紀のイタリア舞曲とあります。同じ曲がコストのギター独奏版、ソルのヴァイオリン&ギター版で出版されているのを見ると、当時読み人知らずの古楽曲として流行していたのではと思います。ロマネスカとはある定型のバス主題のことで、ギタリストに馴染みのあるところでは《グリーンスリーブス》やナルバエス《牛を見張れ》などがそれです。そう思ってバス進行を見てみると…、聴きなじんだ進行よりも若干変形された感じがしますが、なるほどロマネスカに見えてきます。

アプローチを考える

さて演奏について。まず Andante(ゆっくり)とあります。短い前奏が終わると espressivo(情感を込めて)の指示ですから、舞曲でありながらまるでバラードを弾かせるような雰囲気ですね。ここではあえて幽玄な響きを持った、古風でロマンチックな曲としてアプローチするということでどうでしょう。ルバートもたっぷり入れて。

プラス・アルファのアドバイス

前奏は単純な和音の連結ですから、少しイメージを膨らませて即興的なスケールなど織り交ぜて飾ってみるのがよいかもしれません。本編では同じメロディーが繰り返される際に音色を変えるのもよいですが、むしろ少しメロディーフェイクを加えて…、つまり音を変えて弾いてみるのも楽しいと思います。メロディーは基本的に4小節でひとまとまりですが、フレーズの後半はディミヌエンドすること。甘い吐息のように弾けたら最高です。

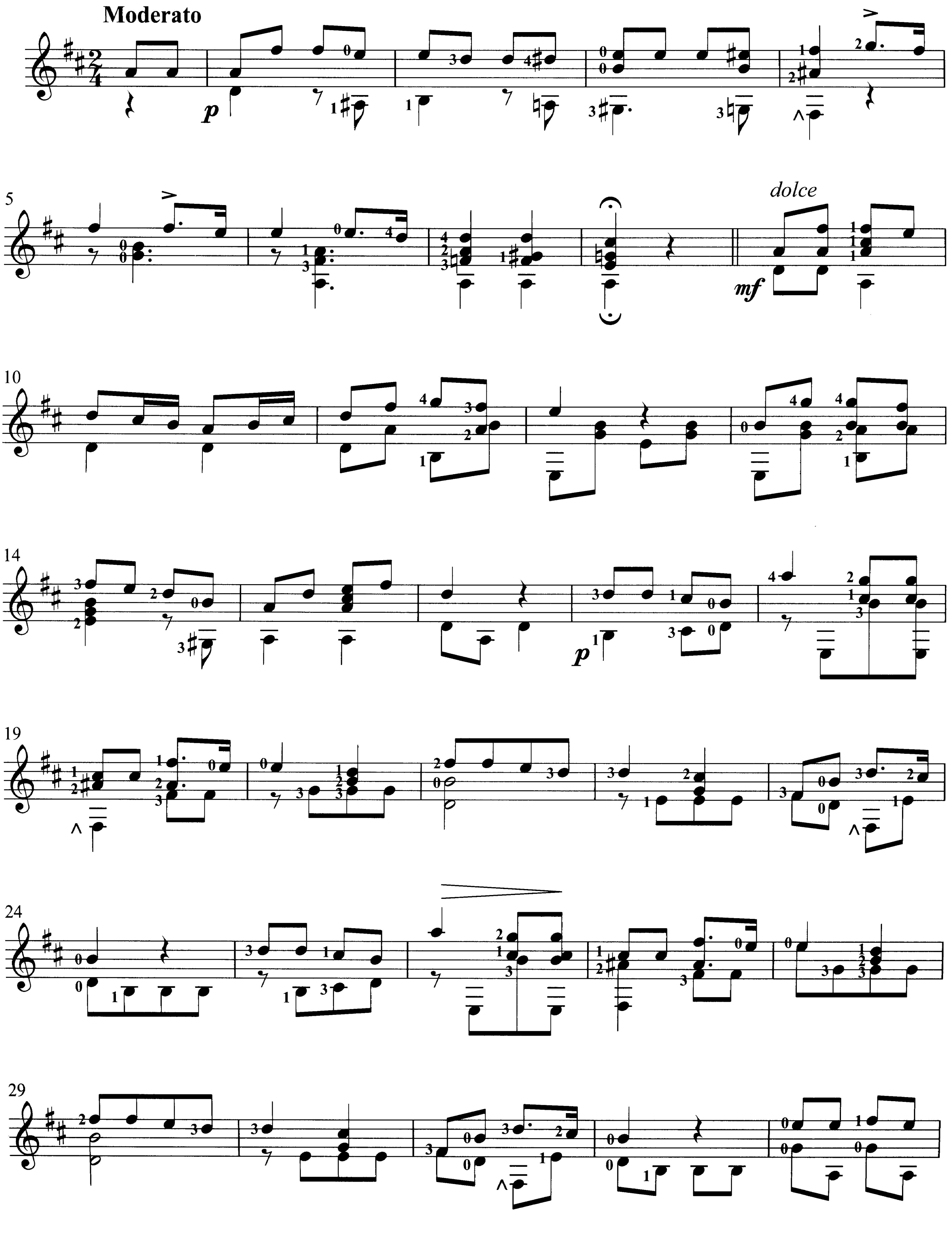
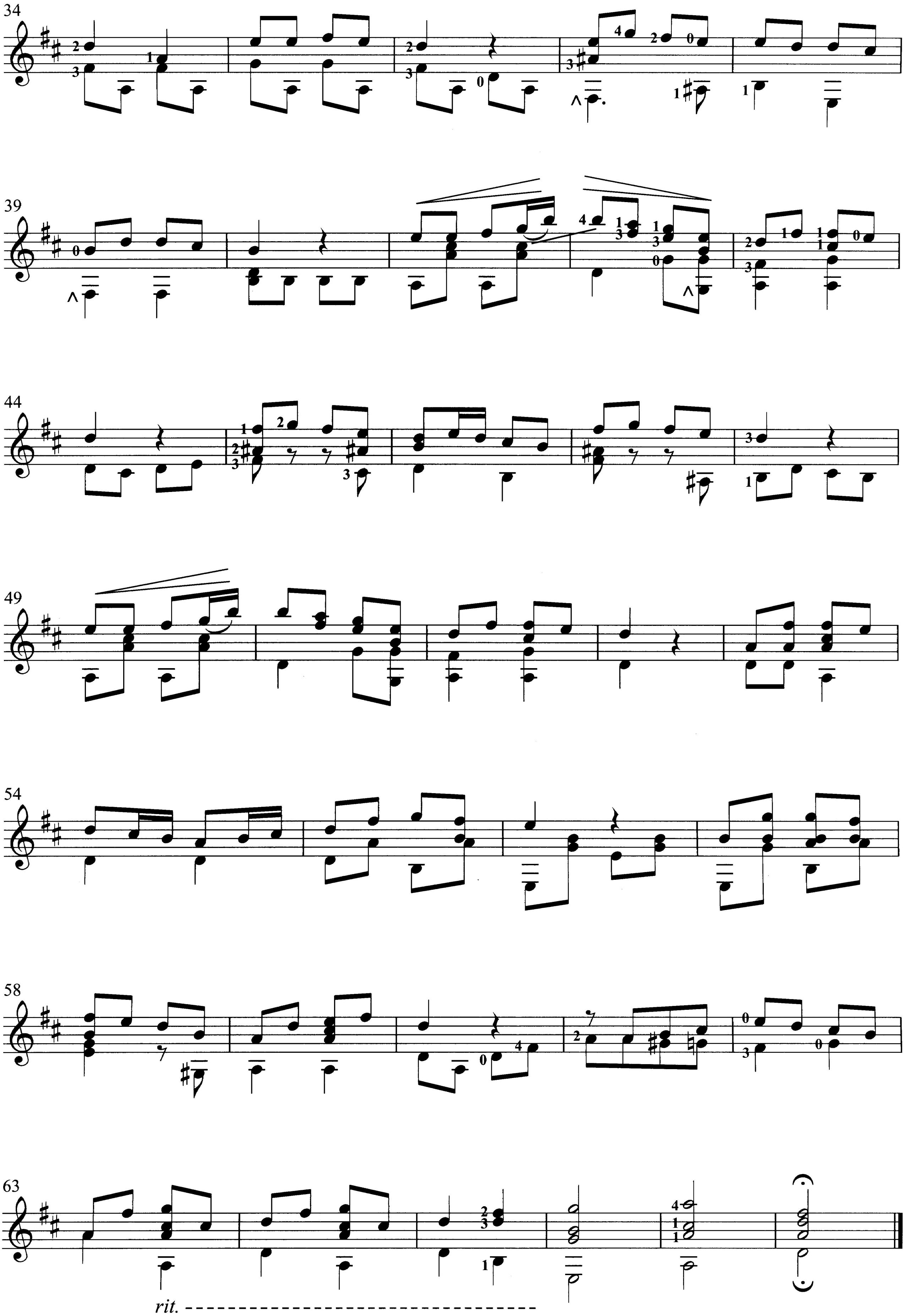
04 付録CD トラックNo.

Der rothe Sarafan

Russisches Volkslied

ロシア民謡「赤いサラファン」

Joseph K. Mertz

Kukuk no.118

rit.

05 付録CD トラックNo.

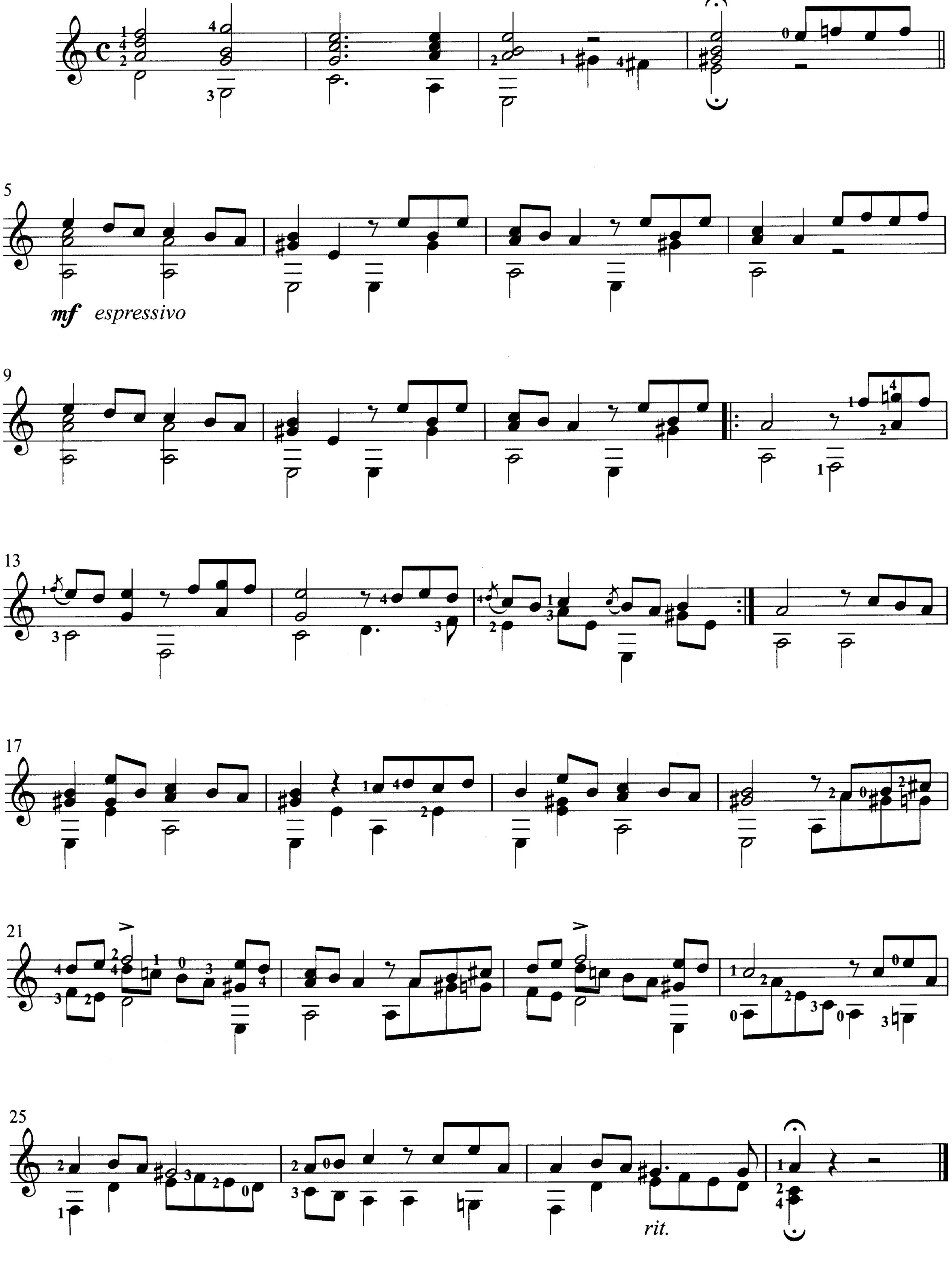
La Romanesca

Italienisher Tanz aus dem 16. Jahrhundert

ラ・ロマネスカ

Joseph K. Mertz

Kukuk no.118

Andante

12の練習曲プロジェクト

これで実力アップ!! Twelve Etudes by Hirokazu Sato

1966年、青森県弘前市生まれ。弘前大学教育学部音楽科卒業。ピアノ、作曲等を学ぶ。ギターを渡辺範彦、永島志基、各氏に師事。90年新人賞選考演奏会で第2位入賞。同年、自作曲がPTNAヤングピアニスト・コンベンションの課題曲に採用される。91年、デビューリサイタル。現在、教授、演奏、編曲、作曲で活動。

佐藤弘和

エチュード 2 アルペジオ

前回の《練習曲第1番》いかがでしたでしょうか?

いきなり難しくなってしまってびっくりした方も多いのでは…と多少の心配も。音楽的にある程度のものを創ろうとすると、高い技術も同時に要求してしまうのは必然かもしれませんね(…と思って頑張ってついてきてください!)。

技術的な難しさの中にも、ギターで弾きやすい&弾きにくいがあります。パターンがあるもの、ギターの特性を生かし無理を避けているものなどは“難しいが弾きやすい”。逆にパターンがないもの、音楽上の流れを優先させるためギターの機能を無視している部分があるものなどは“弾きにくくて難しい”と言えるでしょう。僕の練習曲は間違いなく前者です。全体的には難しいと思えても、1つ1つを見れば無理のない運指になっているはずなので、最初は焦らずゆっくり、着実に見ていってください。馴染んでくるにしたがって、だんだんと上手に弾けるようになってくるはずです!

さて、第2番も第1番に引き続き「アルペジオ」の練習曲です。ただしヴィラ=ロボス《練習曲第2番》同様、音域の幅広いアルペジオになります。基本的なアイディアはヴィラ=ロボスによりますが、僕の場合、パターンの最低音&高音に2度上行(または下行)するスラーを組み入れて全体を統一する主題のように扱っているのが違った特徴でしょう。このスラーにはアクセントが伴うので少々ポップ(ロック?)なノリになります。ヴィラ=ロボスに比べて“チョイ悪”(死語?)の雰囲気を出す意図があります。

では、順を追って解説していきます。

●[1]～[3]。曲の性格を決めるパターンの提示。1小節を2回繰り返すのはヴィラ=ロボスに倣っています。1拍目のスラーで弾みをつけ、開放弦を挟んでハイポジションへ移動、最高音ですぐにスラーをして再びローポジションへ戻る。繰り返しこのパターンを続けることで生じるめまぐるしい“ポジション移動”が練習のポイントの1つです。例えば[1]では1ポジションから10ポジションへの移動。指だけの移動にならぬよう腕全体の移動を意識して練習しましょう。

●[4]～[7]。小節ごとの繰り返しがないので、さらにめまぐるしくなります。[5]最初のスラーは⑤弦の開放弦ラを弾いた直後⑥弦のソを叩いて音を出す。このパターンのスラーは[14]3拍目にも出てくるので慣れてください。

●[8]～[9]。スラーの連続による繋ぎの部分。滑らかに弾くことも、アクセントをつけてアグレッシブに弾くこともできるでしょう(お好みで)。

●[10]～[11]。再び最初のパターンに。[12]～[13]の6度音程の連続で変化をつけた動きと[14]の2拍に短縮されたパターンの繋ぎで[15]へ。ここまでが前半。

●[16]。ここからアルペジオ最初のスラーを繰り返し伴奏のように扱っていきます。技術的にはやや楽になりホッとする部分かも。[17]～[18]でメロディは「シドレ、シドレミ、シドレミファ」と増殖し[19]～[20]へ。弾きやすいので走らぬよう注意。

●[21]～[26]。ヴィラ=ロボス的平行移動の部分。《前奏曲第2番》の中間部と和音の押さえ方は一緒。グリッサンドで移動する際は何度も出てきているスラーのイメージで。

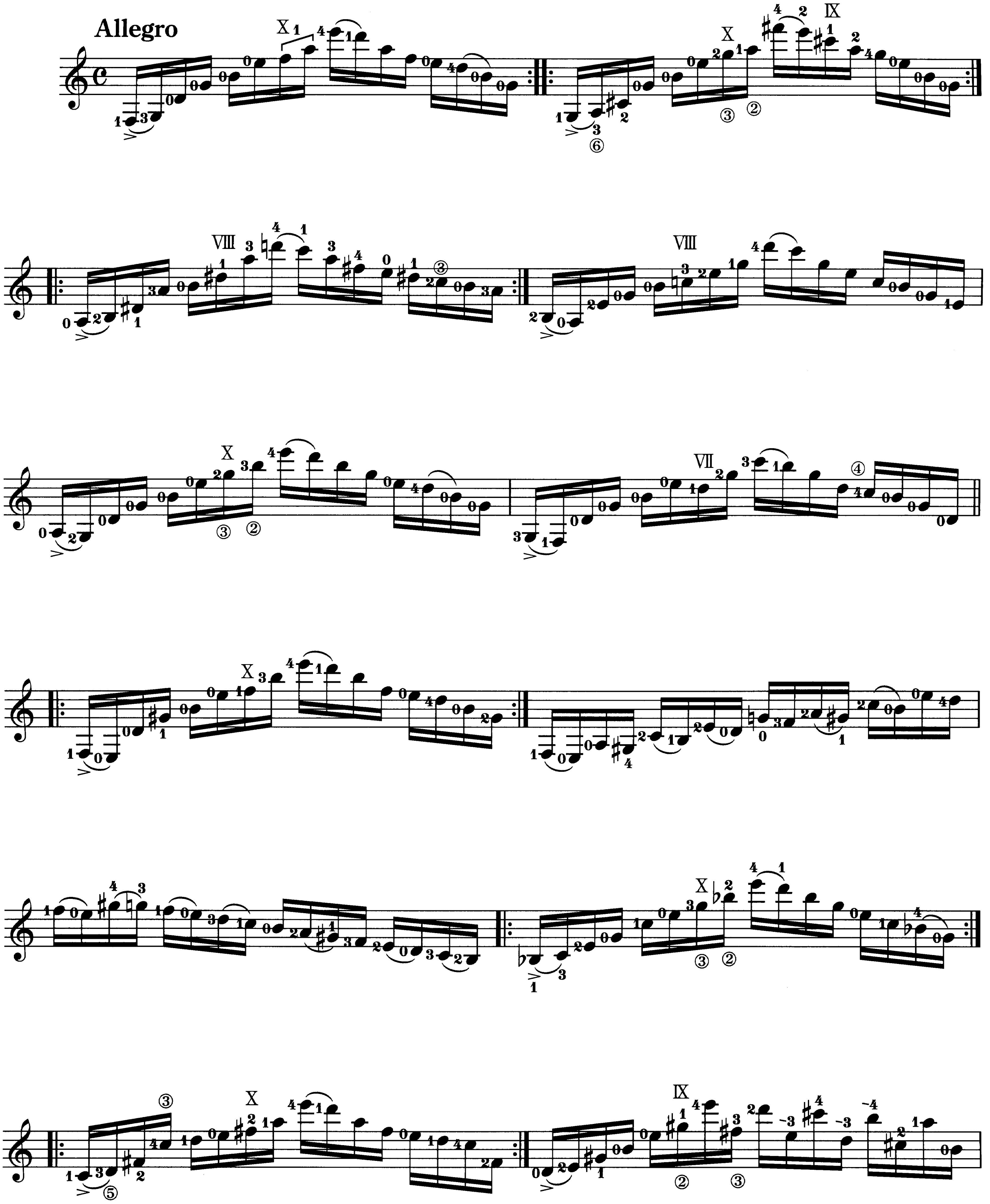
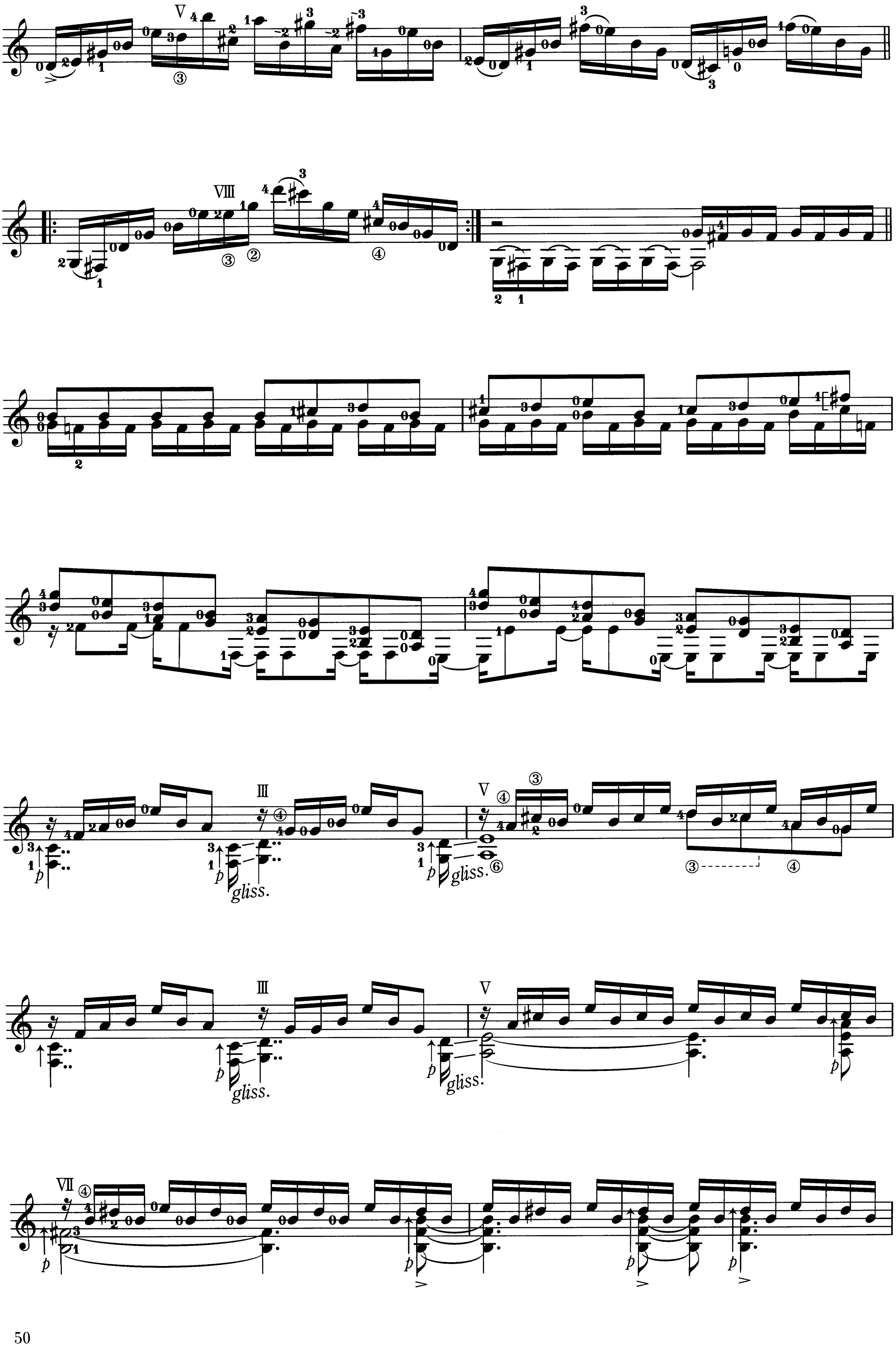
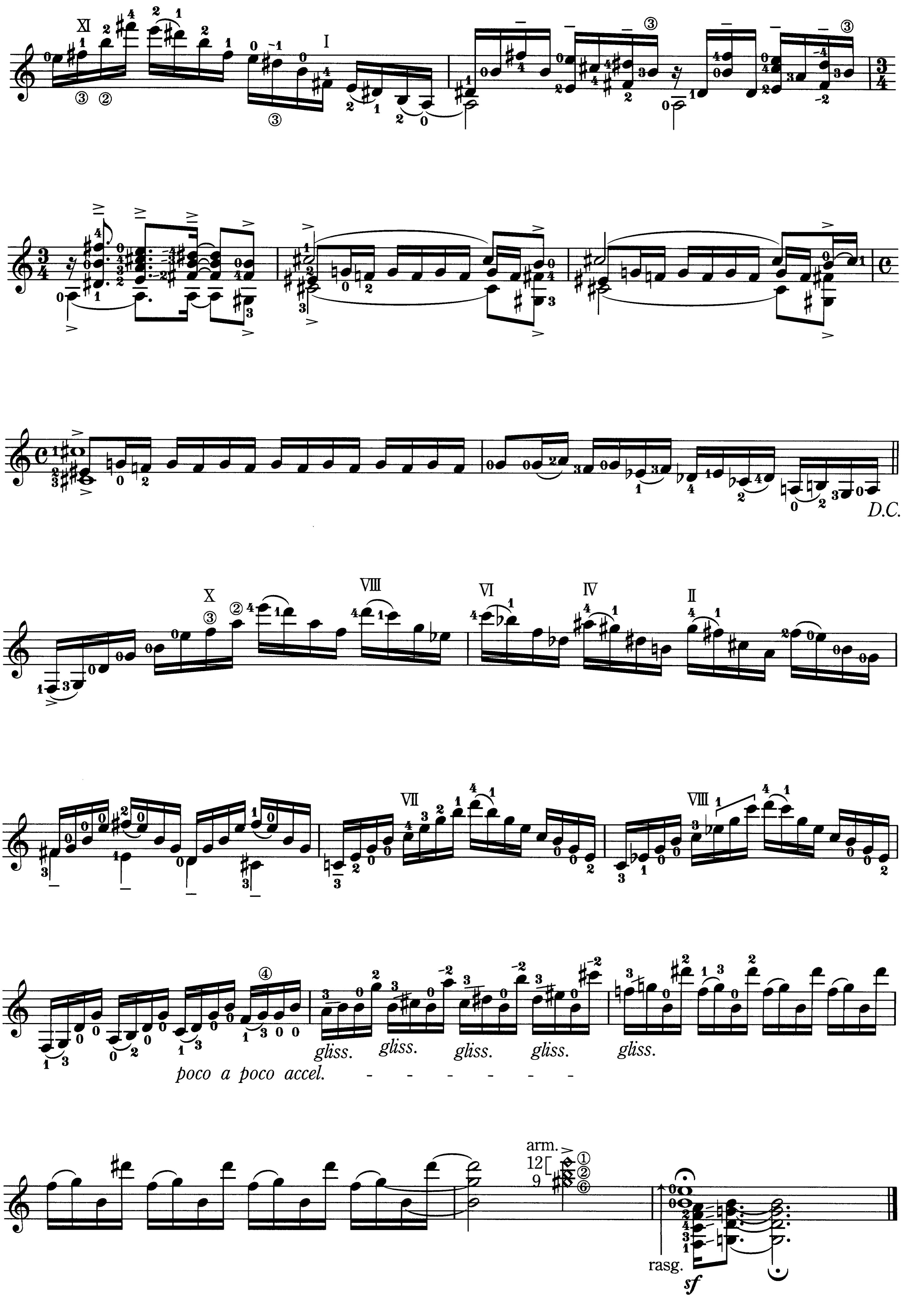
●[27]のアルペジオのパッセージを繋ぎにして後半のシメの部分。ファンファーレ的“ロ長調”の[28]～[29]から終止[30]～[32]は結局“嬰ハ長調”に。決然と弾きます。[33]は全音音階のスラー。ダ・カーポまたはコーダへ。

●[34]～[36]。冒頭のパターンから即興的に発展した部分。[37]～[38]の最後のアルペジオでダメ押しのアーメン終止。

●[39]～[42]は1拍ずつのスラーを伴うパターンが③弦上でグリッサンド移動に変化。アッチェレランドして盛り上げてのクライマックス。[43]～[44]最後の和音はE-F-Gとめでたく主和音に解決!

03 付録CD トラックNo.

Etude No.2

Hirokazu Sato

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

V
VIII
III
gliss.
VII

XI
I
X
VIII
VI
IV
II
VII
VIII
D.C.
gliss.
poco a poco accel.
arm.
12
9
rasg.
sf

SKILL UP TECHNIQUE by Koichi Kezuka

テクニック再考

ギターのツボ

毛塚功一

第 14 回
ポジションについて 3

1960 年宮城県石巻市生まれ。故菅ノ又信太郎、湯下節男、故久坂晴夫にギターを師事。77 年第 3 回東北ギターコンクールで第 1 位、78 年新人賞選考演奏会で新人賞を受賞。82 年デビューリサイタルを行ない、関東を中心に演奏活動を開始。1995 年東京ギターカルテットを結成。CD に「タレガ：前奏曲と練習曲」「ソル：24 の練習曲 op.6&29」など多数。成城学園中学校非常勤講師。日本ギタリスト協会委員。

ポジションについての最終回です。軸指の使い方、移動前と後での左手の姿勢、そして移動のスピード変化について説明しましょう。

ハズさないために

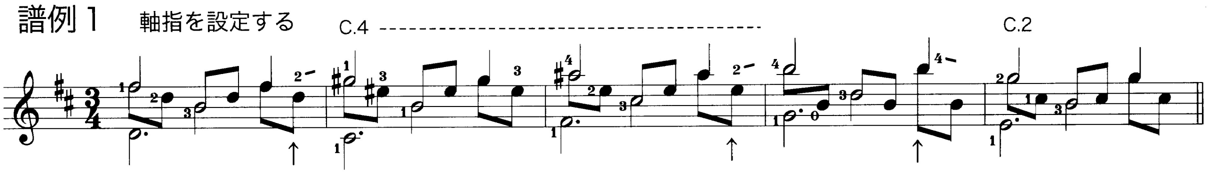
ポジション移動先で、いわゆる**ハズす**という経験のある人は多いと思います。フレットを間違えて横方向にハズすこともあるでしょうが、ここでは弦を間違えたり弦の間を押さえたりしてしまう場合を考えてみます。ここここで必要となるのは**軸指**という考え方です。

軸指は正式な用語ではありませんが、指の運びを研究する上で演奏家の誰もが意識している概念で、**移動するポジション間で位置関係を決定する、ガイドになる指**を意味します。楽譜上に軸指が表記されることはほとんどありませんが、運指を考える際には移動の前後を観察して軸指を設定することが有効です。**譜例 1** はソル《月光》のエンディングです。曲の最終の山場でポジション移動によるミスタッチが出てしまうケースを多く見かけます。矢印が軸指にあたり、それとの位置関係を築くことで次の音（あるいは２つ先の音）の押弦を安定させます。移動の際には押弦の圧力を減らして、ポルタメントがかからないように注意します。

左手の回転

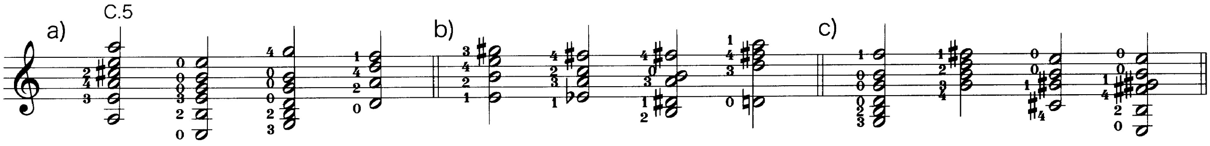
左手はネックに対して斜めにせずに、常にまっすぐな型を保って押弦するのが理想とされていますが、腕や指の長さ、開き具合は人それぞれですから、なかなか教則本どおりにはいきません。押さえによって手首の姿勢が変わると、ポジション移動の際に支障が生じます。一般にギターの押さえには大きく分けて3つの型があります。日頃の練習で意識することはないと思いますが、左手の甲の向きを鏡で観察するとそのフォームがよくわかります。**譜例 2 a** はネックに対してまっすぐに（概ね直角に）押弦する最も安定した型、**b** は脇が開いて手首を後ろに引いた型、**c** は脇を締めて手首を出した状態の傾いた型です。ポジション移動

譜例 1　軸指を設定する



軸になる２指をスライドして３指に安定感を　　１指のために　　２指のために

譜例 2　３つの型



傾きのない安定した型　　脇が空く傾向にある型　　脇が閉じる傾向にある型

ギターグルメのためのレパートリー

付録CDに
模範演奏が
収録されています。

ジョセップ・パスクアル

メロディー第３番

J. パスクアルは 1964 年バルセロナ生まれの著名な作曲家・音楽評論家。私の CD を聴いてくれたのを機に親しくなりました。私と共通の芸術観、感受性を持ち、これまでに数多くのギター曲を献呈してくれています。今回掲載したのは、06 年に作曲された《メロディー集 Presque Mélodies》というタイトルの、4 つの美しいメロディーからなる小品集の第 3 番。 (M. バビロニ)

フェルディナンド・カルッリ

24 のデュエットより（ギター教則本 op.27 より）

ABACAD…と続くような構成の楽曲はロンド形式と呼ばれます。第 17 番はかわいらしい小曲ながら、ロンド主題の間に挿入されるエピソードの表情もバリエーションが豊かで、全体に均整のとれた作品に仕上がっています。レッスン室の中だけでなく発表会のレパートリーにもお奨めします。曲の指定は Allegretto（軽快なテンポ）。遅いのは論外ですが、競争のように速すぎるのも演奏効果を失いますので注意してください。

(長谷川郁夫)

二橋潤一

風の詩（河野賢先生に捧ぐ）

河野賢（1926-1998）が 68 年の国際コンクール優勝などの輝かしい経歴を持つ日本を代表するギター製作家であることは改めて紹介するまでもないだろう。筆者は晩年の 10 年を身近で見ていたが、心からクラシックギターを愛した人だった。楽器製作だけではなく、日本におけるギターという楽器の地位、演奏家への配慮、そして新しいギター作品の開拓と、その啓蒙活動は数知れない。それは世界でも珍しい長寿のギター専門雑誌の創刊という事実が証明している。

日本ギター合奏連盟は本年、発足 20 周年を迎えたが、その数ある業績の中でもっとも重要なものはギター合奏曲の作曲委嘱であろう。この《風の詩》は 1999 年の第 1 回目の委嘱作品。前年 12 月 13 日に逝去した河野 賢の追悼作品となっている。初演は日本ギター合奏連盟アンサンブル OZ により、99 年 11 月 14 日第 11 回 JGA ギター音楽祭で行なわれた。本年は河野没後 10 周年であるため、新作 3 重奏曲を休み、この作品を掲載する。

この 4 重奏曲（または合奏曲）は、明るさ、清々しさ、荒々しさ、神々しさ、楽しさ、、そして厳しさと、さまざまな性格を帯びている。それはギターとともに生きた河野の生涯そのものと言ってよいだろう。今回の楽譜掲載・音源収録により、この曲が広く演奏されることを期待したい。偉大な先駆者を忘れないためにも。 (菅原 潤)

ヨハン・セバスティアン・バッハ（壺井一歩・編曲）

アリオーソ（2 題）

アリオーソとして知られるバッハ《カンタータ 156 番》のシンフォニアと《チェンバロ協奏曲第 5 番》第 2 楽章です。どちらも同じ旋律ですが、より装飾の豊かなチェンバロ協奏曲のほうが表情のつけ方が難しいかもしれません。それは「装飾された」旋律がすでに表情をつけられているからでしょう。参考にはピアノですがグールドの録音をお薦めします。

(壺井一歩)

京都民謡（壺井一歩・編曲）

竹田の子守歌（新 12 の歌より）

このシリーズの中では比較的シンプルなアレンジになっている。[29]から始まる 6 度の短いカノンは静かな悲しみの音楽。ほかも、空を仰いではいるが（この歌の歌詞を思わなくとも）悲しい音楽であると思う。

(壺井一歩)

佐藤弘和

ト長調の 3 つの小品

今回は「ト長調」。しばらく調ごとにまとめた小品集をお届けするつもりです。「メヌエット」は典型的な3拍子の舞曲。ほどよいテンポで優美に。古典派（ハイドン、モーツァルトなど）の作例を参考にすると雰囲気がわかるでしょう。「プロムナード」は歩いているような気分で。低音と高音とのメロディの掛け合いも楽しげに。短いながらも最後は充実した感じで終われるように工夫してみましょう。「中国人形の踊り」は4度音程の連続やスラーをユーモラスに。[9][10]と[13][14]は同じですが、スラーとカンパネラで運指を変えています。運指の違いでもずいぶん表情が変わることを実感してください。 (佐藤弘和)

ヨーゼフ・カスパル・メルツ

葬送行進曲

《挽歌（哀悼の歌）》の第 3 曲。「葬送行進曲」はさまざまな作曲家（ショパン、ベートーヴェン。ギターではソル、コスト）が優れた作品を残している、1 つのジャンルと言えるでしょう。メルツの作品も陰鬱な中にも美しさを湛えている名作です。テーマは減 7 の和音（ディミニッシュ・コード）の連続で始まり、悲しみと揺れ動く心を表現。[10]からの部分は明らかにショパンの影響が感じられます。中間部 2nd はニ長調ですがテルツギターはロ長調に。短 3 度の違いは時に難しい調性を要求されます。ティンパニの連打のようなトレモロの部分[34]～[41]を経てテーマが再現。とくにコーダはなく前半と同じ終わり方なのであっけない気も（その効果を狙った？）。最後に、これまで連載したメルツ作品、ソロ曲ではなかなかない雰囲気の曲ばかりで新鮮です。馴染みはあまりないかもしれませんが、せっかく我々に残されたロマン派ギター遺産ですから、ありがたく楽しもうではありませんか！ (佐藤弘和)

呉田軽穂（平倉信行・編曲）

赤いスイートピー

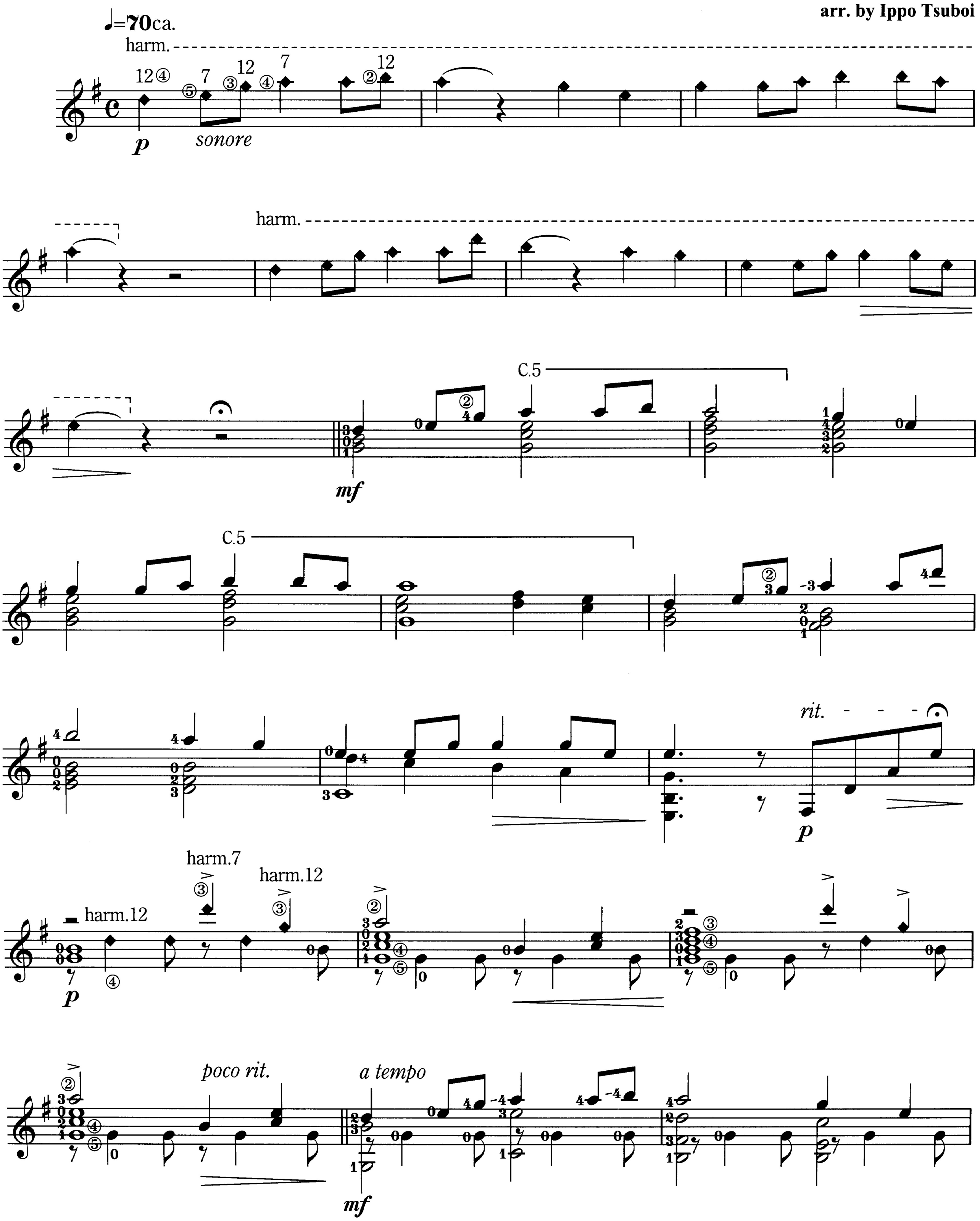
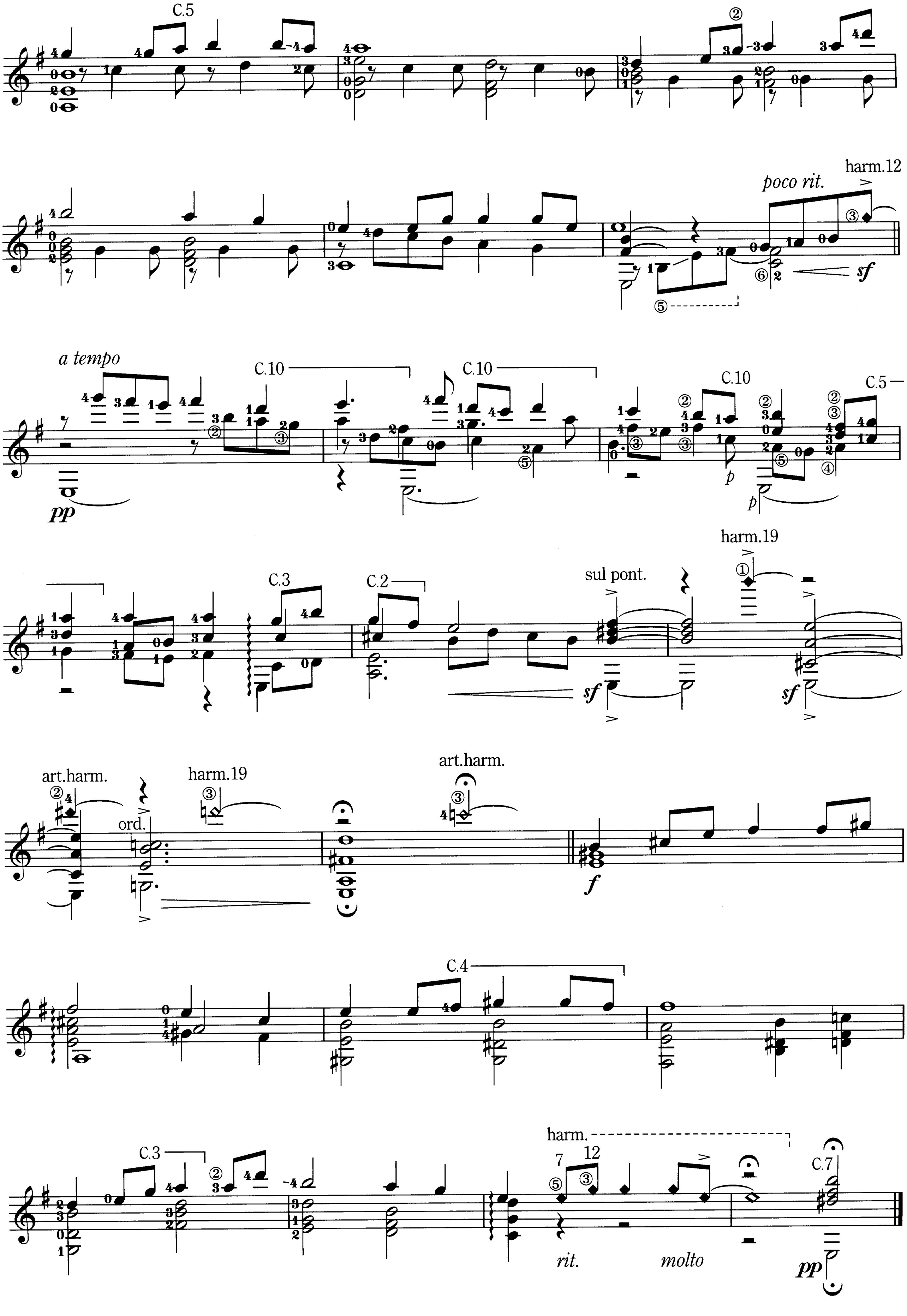
今回はあまり気負わずにさらりと弾けるように、弾き語りスタイルの伴奏を 4th に持ってきました。とはいえ、付点のリズムでつなぐところも随所に出てきますので、十分にリズムを出してください。語りかけるような[B][C]、感情が表に出たサビの[D]との対比をつけてください。メロディーの高低、音の厚みに従って強弱をつけるだけで表現は十分だと思います。[D]に出てくる 3rd の対旋律や間奏の 2nd のメロディーは④⑤弦の特徴を生かして響かせてください。ラスト 5 小節のバロック風フレーズはきれいにハモらせてください。 (平倉信行)

06 付録CD トラックNo.

Lullaby of Takeda

竹田の子守歌

Fingered by Sachiko Miyashita

Japanese Folksong
arr. by Ippo Tsuboi

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

C.5
poco rit.
harm.12
sf
a tempo
C.10
C.10
C.10
C.5
pp
p
p
C.3
C.2
sul pont.
harm.19
sf
sf
art.harm.
ord.
harm.19
art.harm.
f
C.4
C.3
harm.
7
12
rit.
molto
C.7
pp

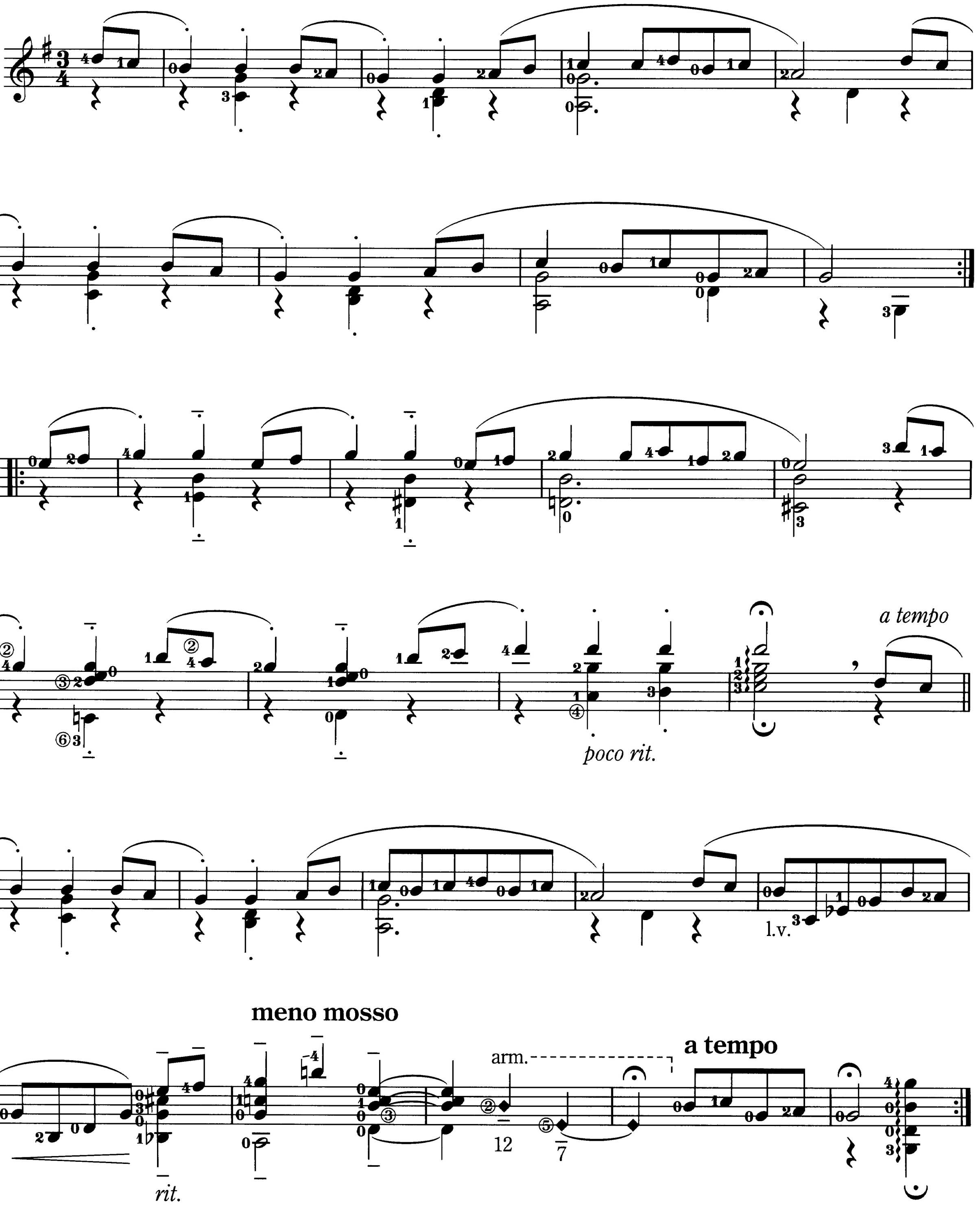
07 付録CD トラックNo.

Three Pieces in G major

1. Menuet

メヌエット

Tempo di Menuet

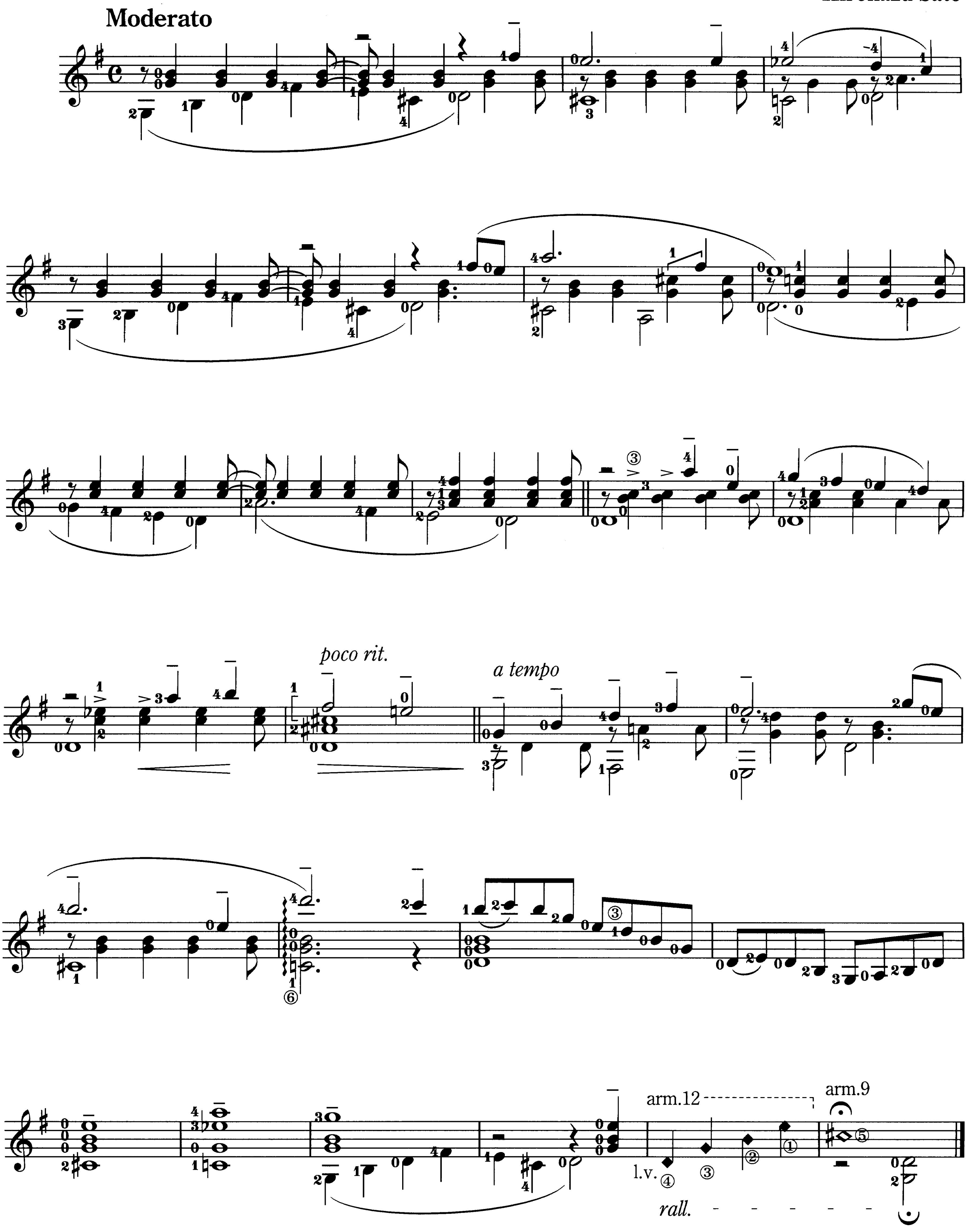
Hirokazu Sato

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

08 付録CD トラックNo.

2. Promenade

プロムナード

Hirokazu Sato



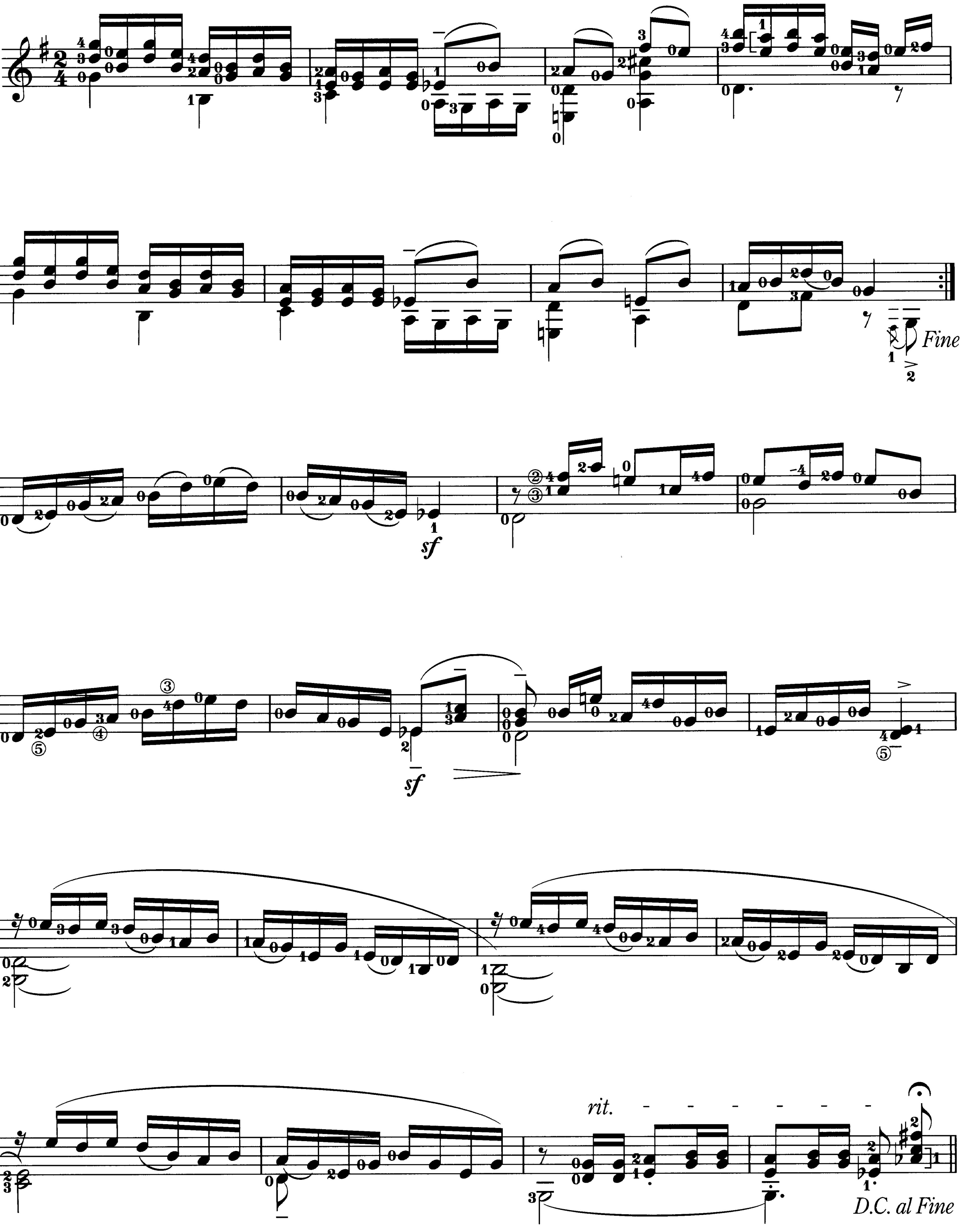
© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

09 付録CD トラックNo.

3. Dance of Chinese doll

中国人形の踊り

Hirokazu Sato

Allegretto

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

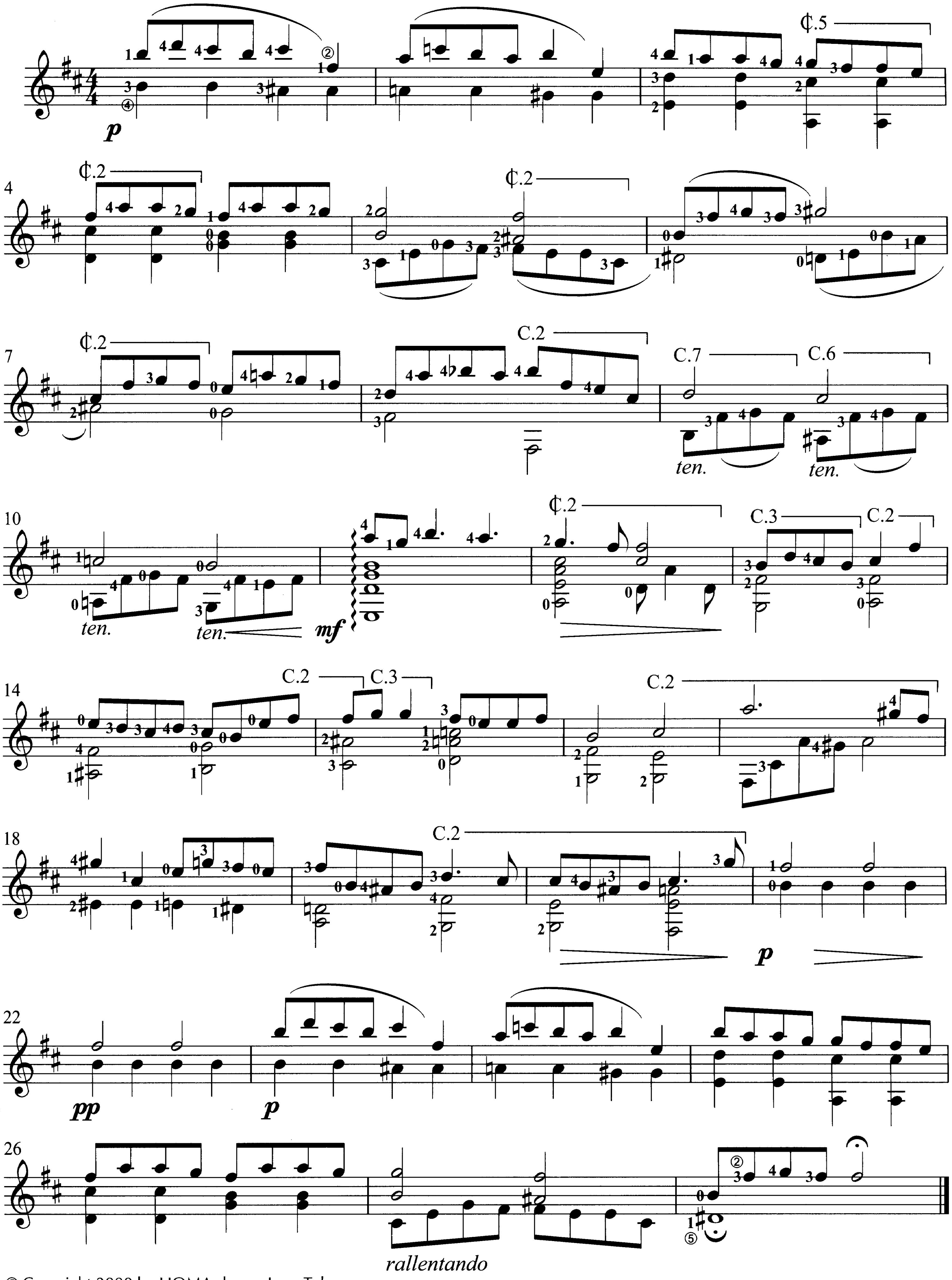
10 付録CD トラックNo.

to Manuel Babiloni

Presque Mélodie no.3

Fingered by Manuel Babilobi

Josep Pascual

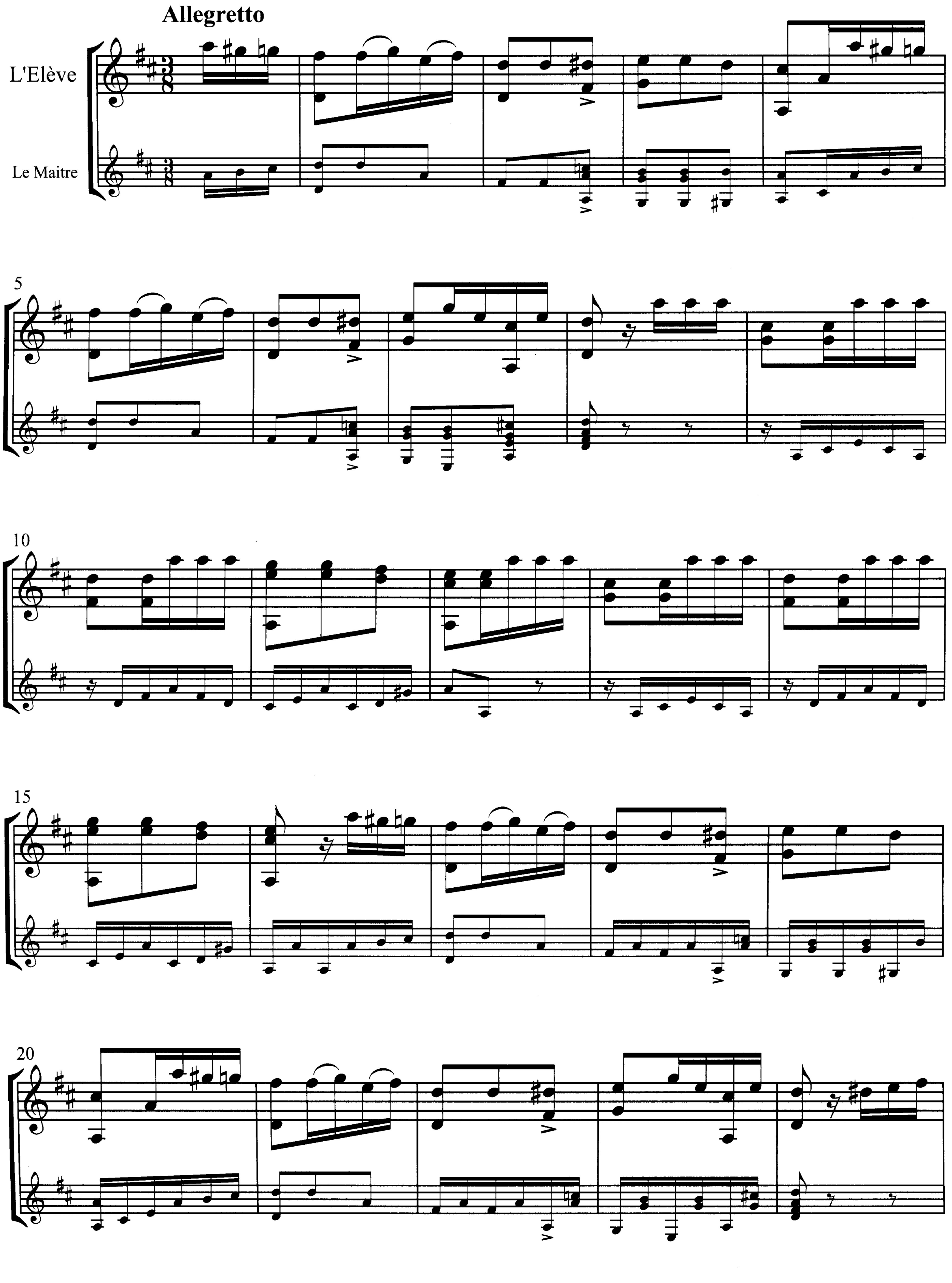
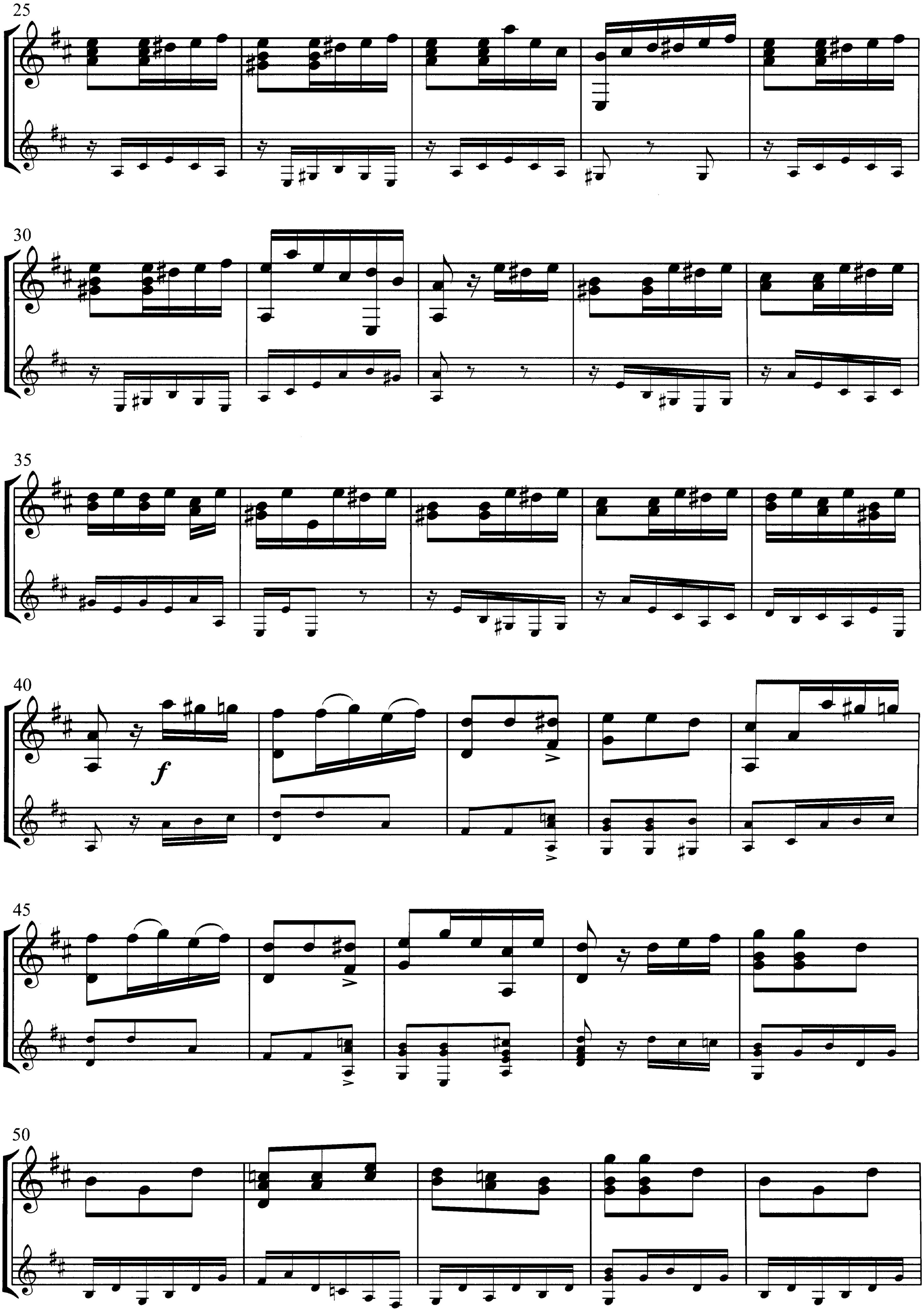
Andante cantabile

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

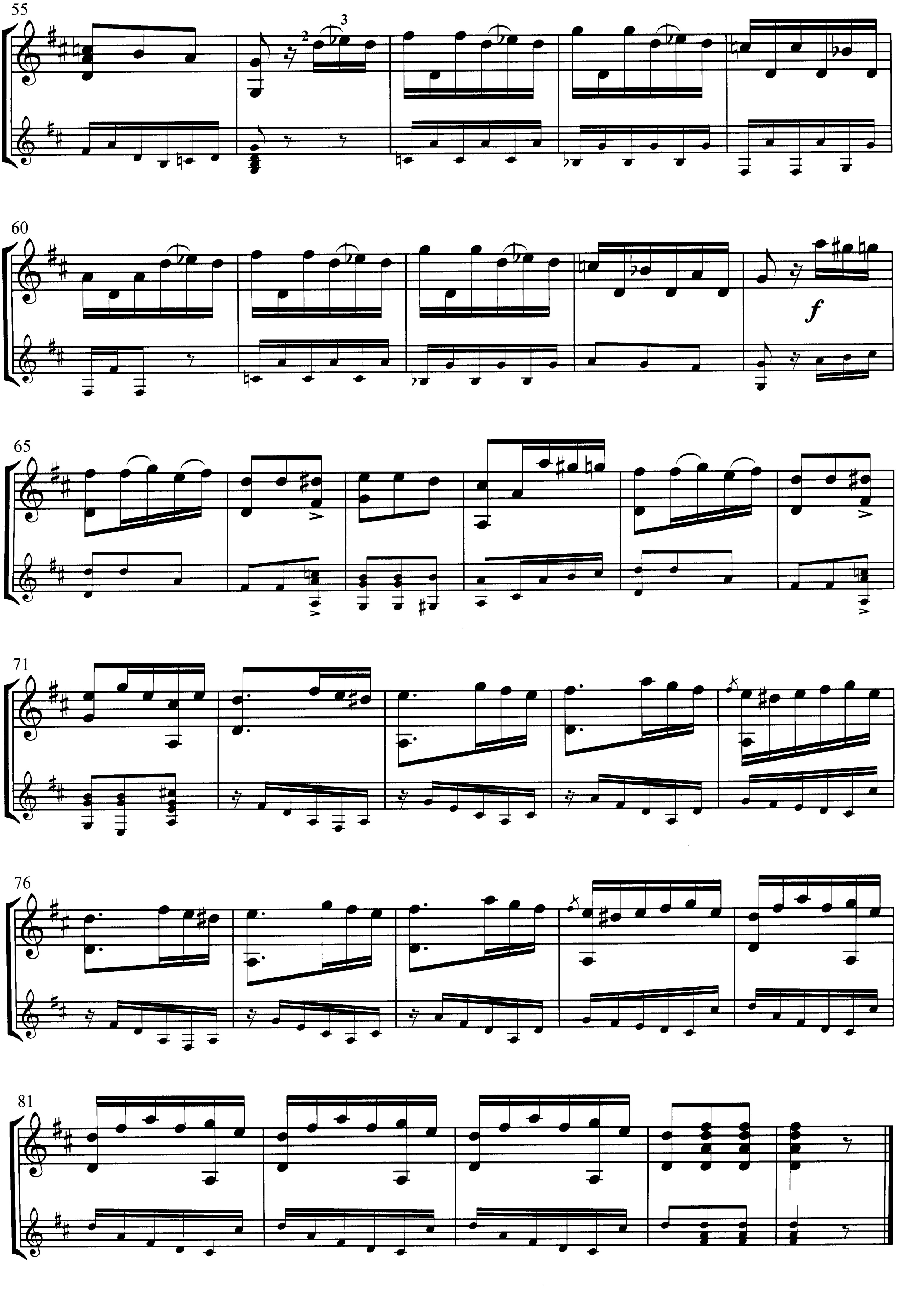
11 付録CD トラックNo.

24 Leçons

pour deux guitares

Ferdinand Carulli, op.27

17me. Leçon

25
30
35
40
f
45
50


55
2
3
60
f
65
71
76
81

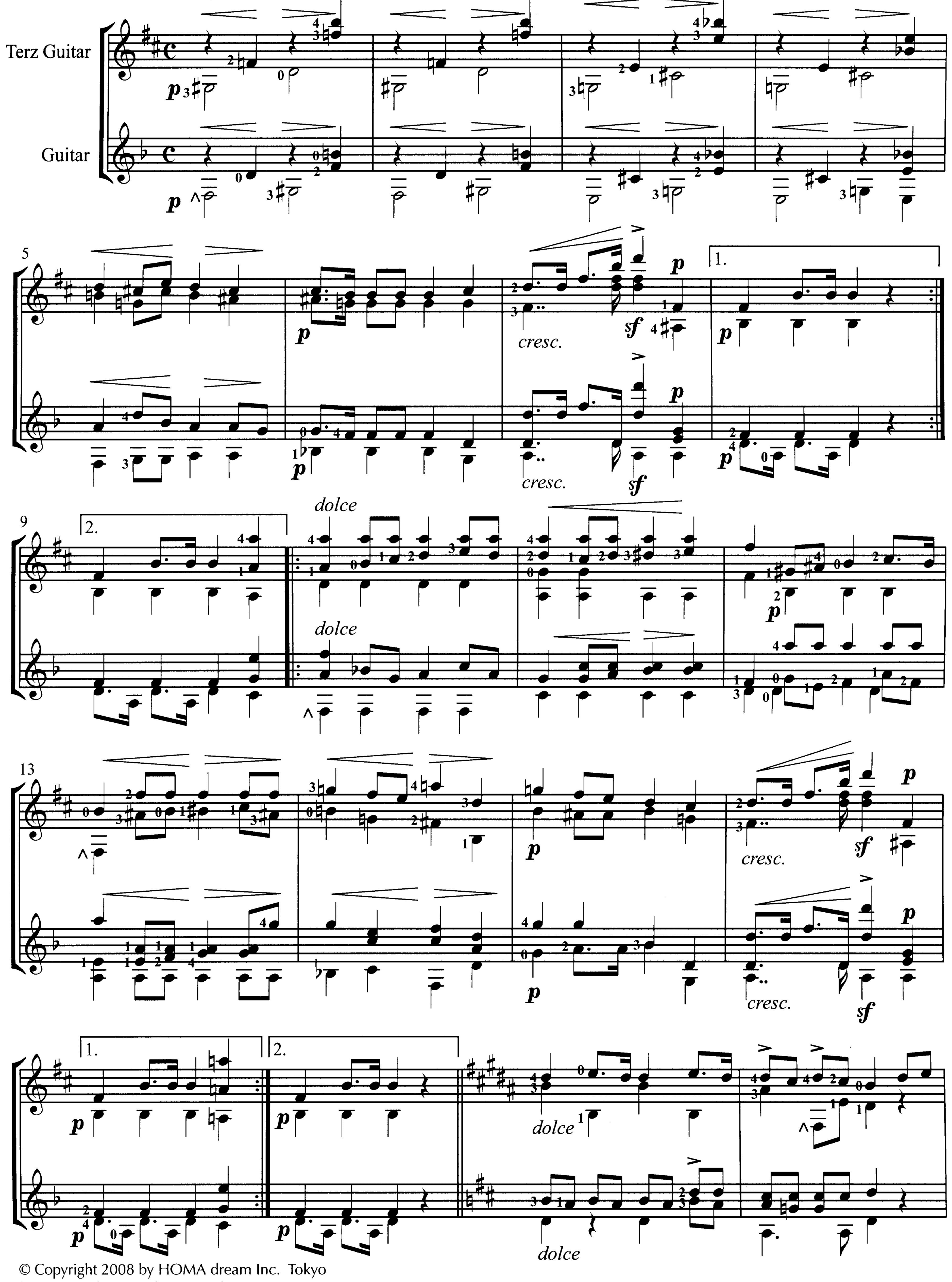
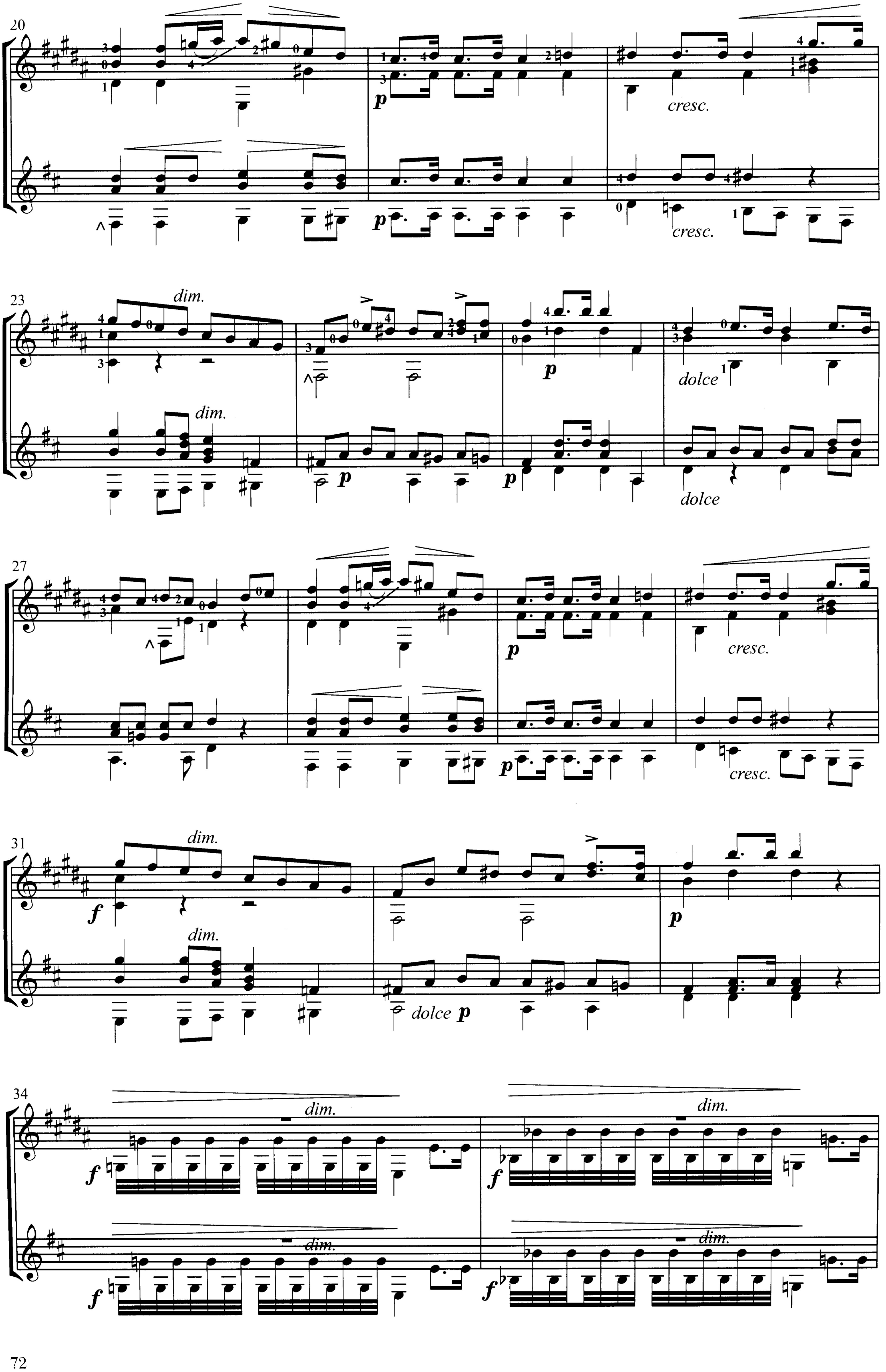
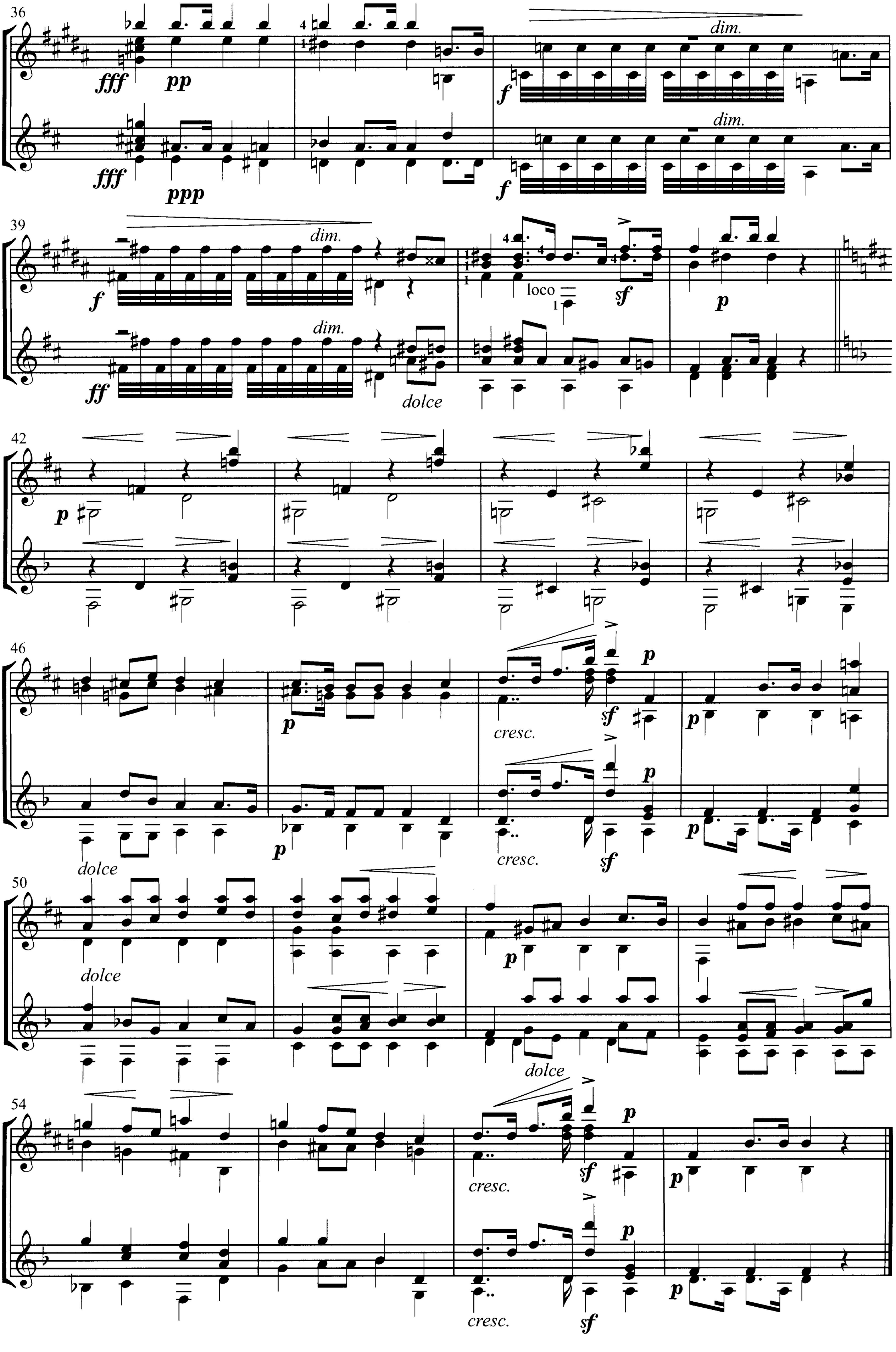
à Josef Floderer

Nänien. Trauerlieder

Joseph Kaspar Mertz

3. Trauer-Marsch

葬送行進曲

Marcia

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

20
p
p
cresc.
cresc.
23
dim.
dim.
p
p
p
dolce
dolce
27
p
p
cresc.
cresc.
31
dim.
f
dim.
dolce p
p
34
dim.
f
dim.
f
dim.
f
dim.
f

36
fff
pp
ppp
f
dim.
39
ff
dolce
loco
sf
p
42
46
cresc.
50
54

付録CD 13 トラックNo.

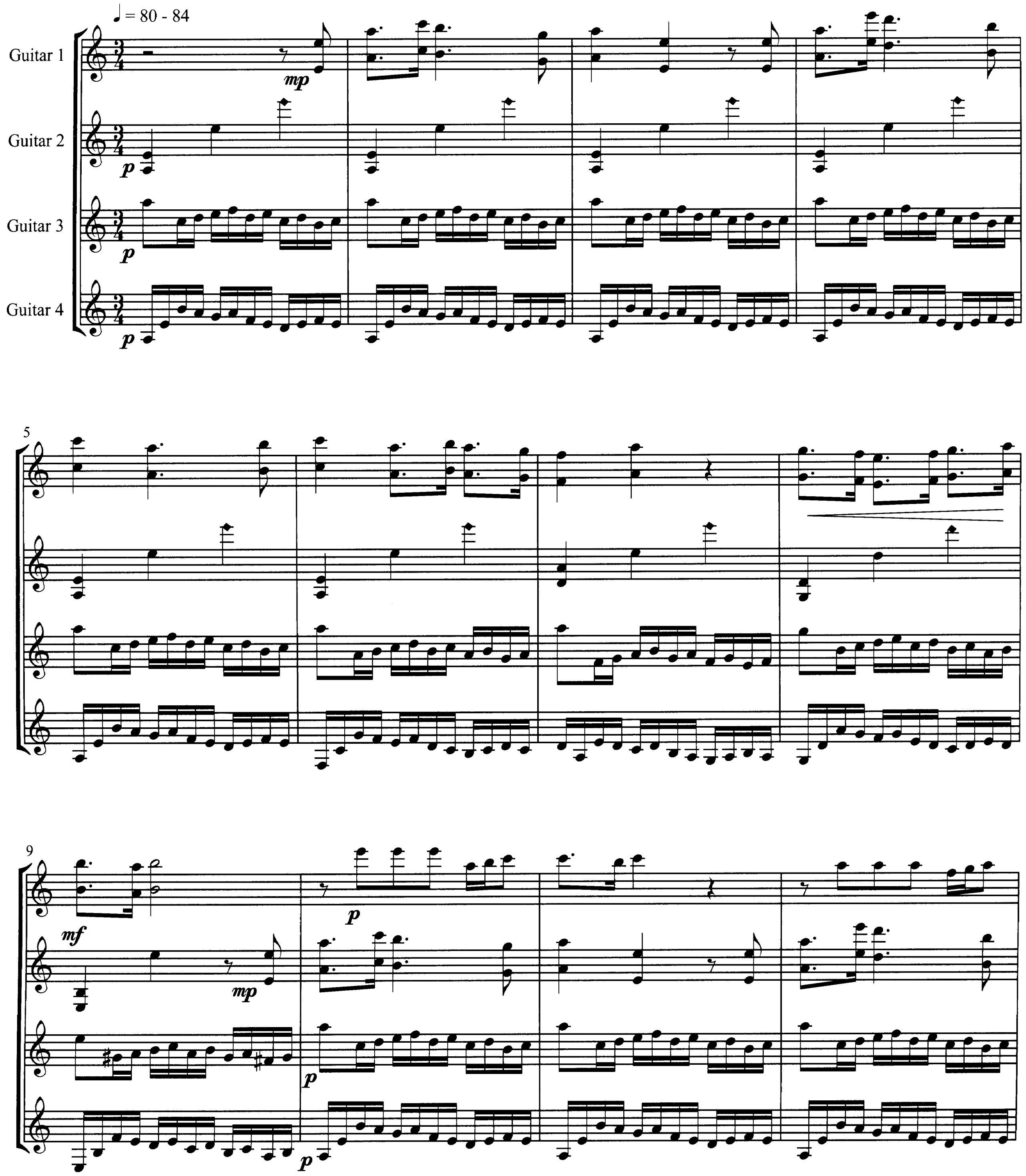
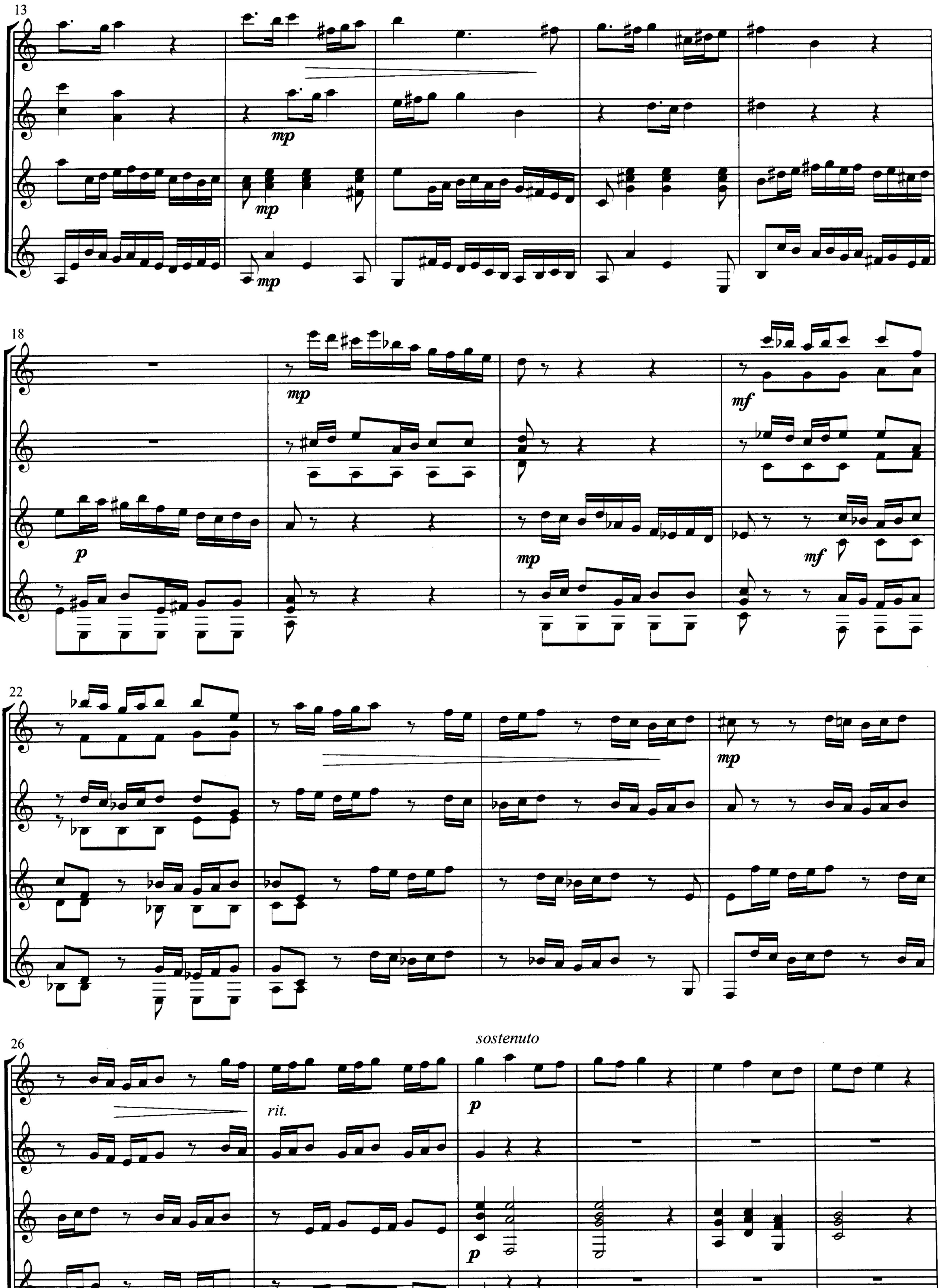
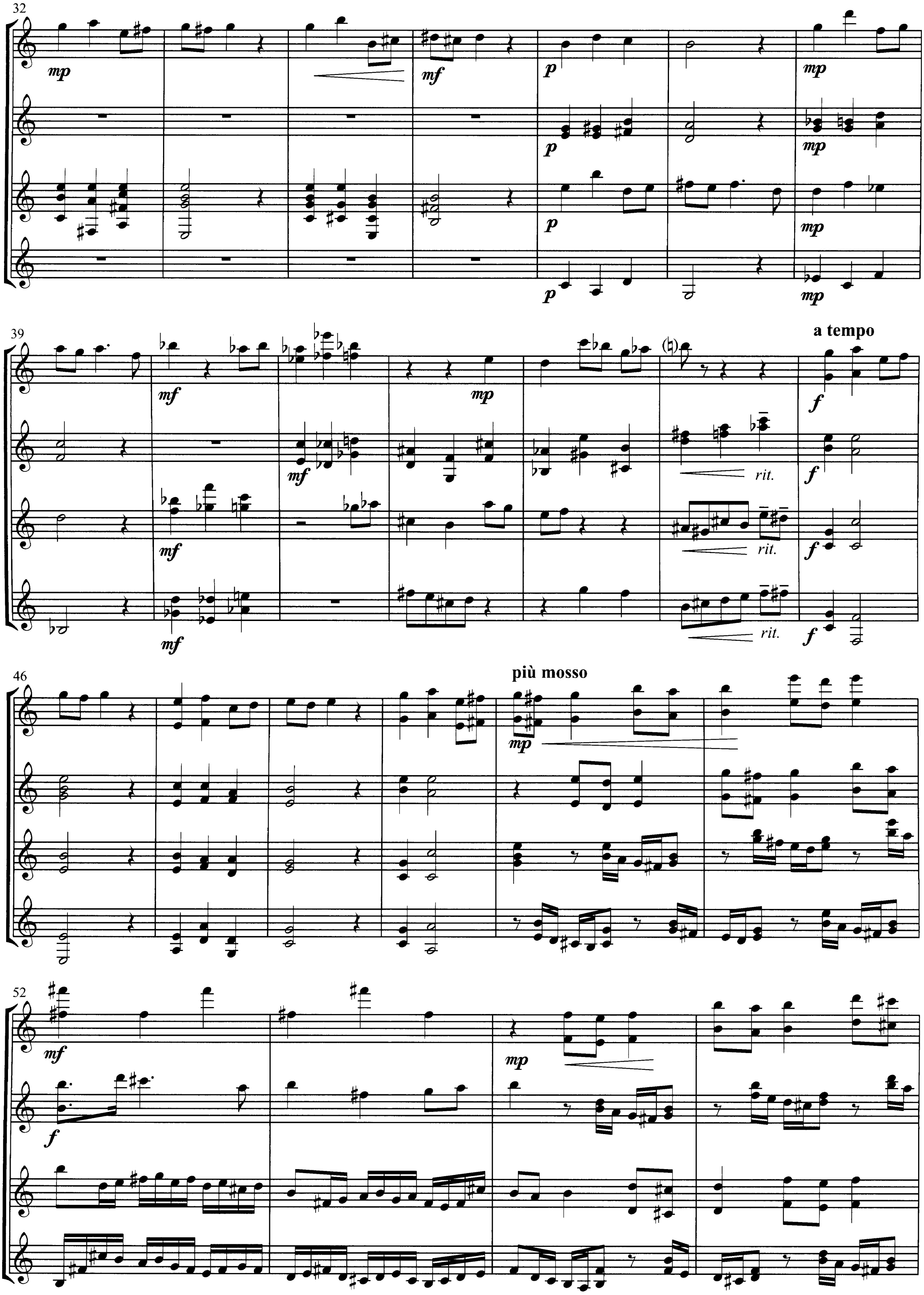
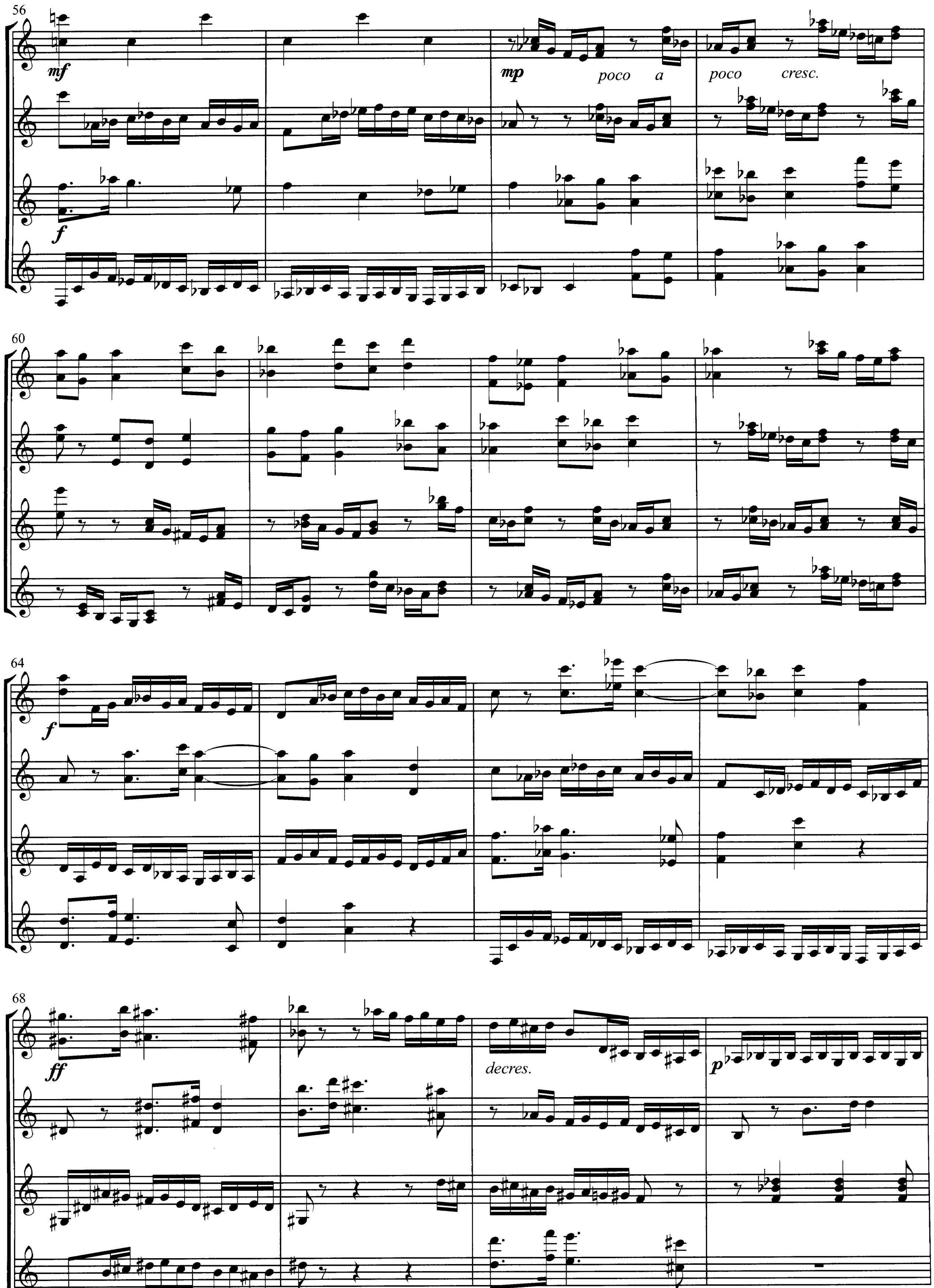
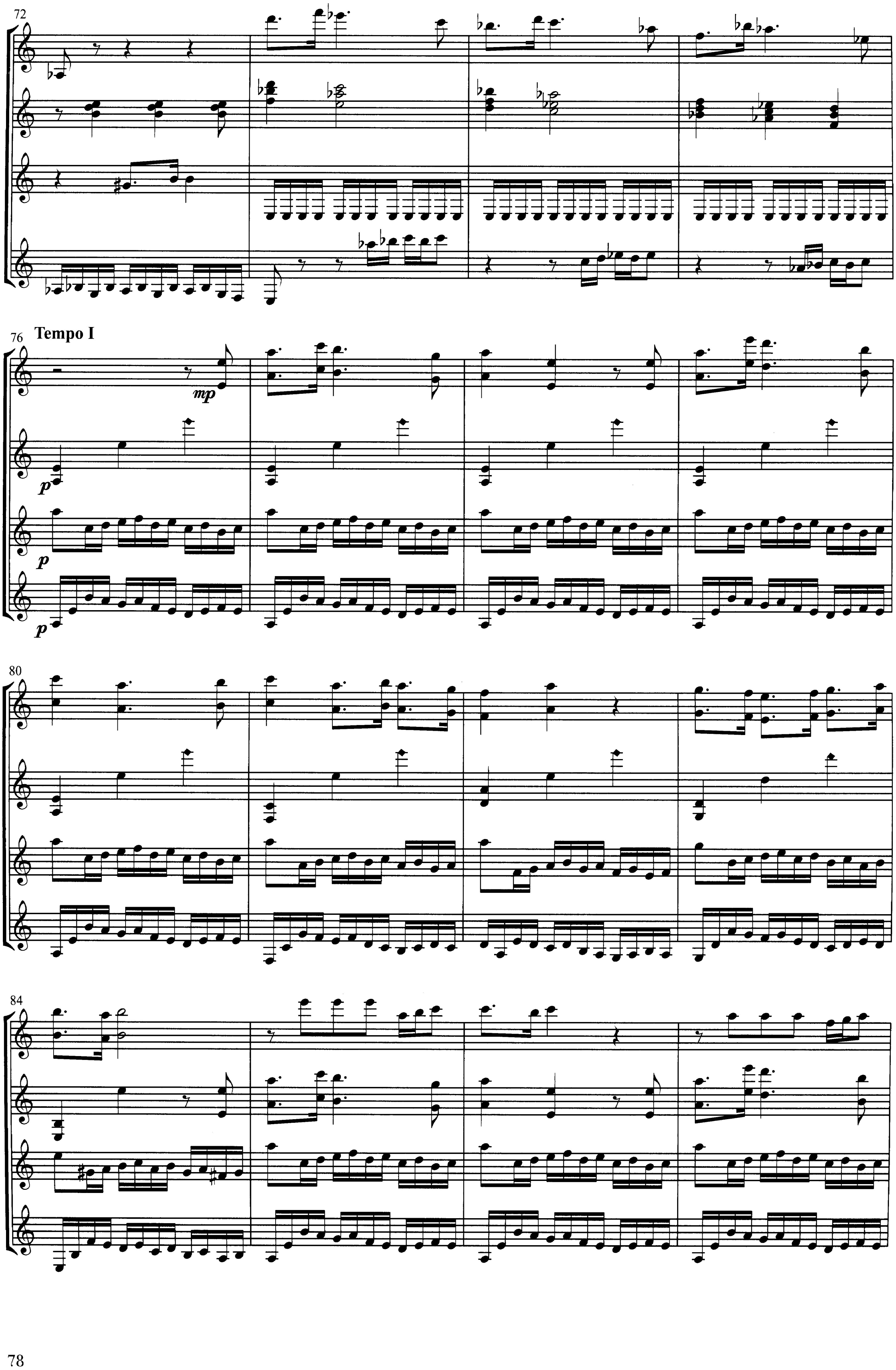
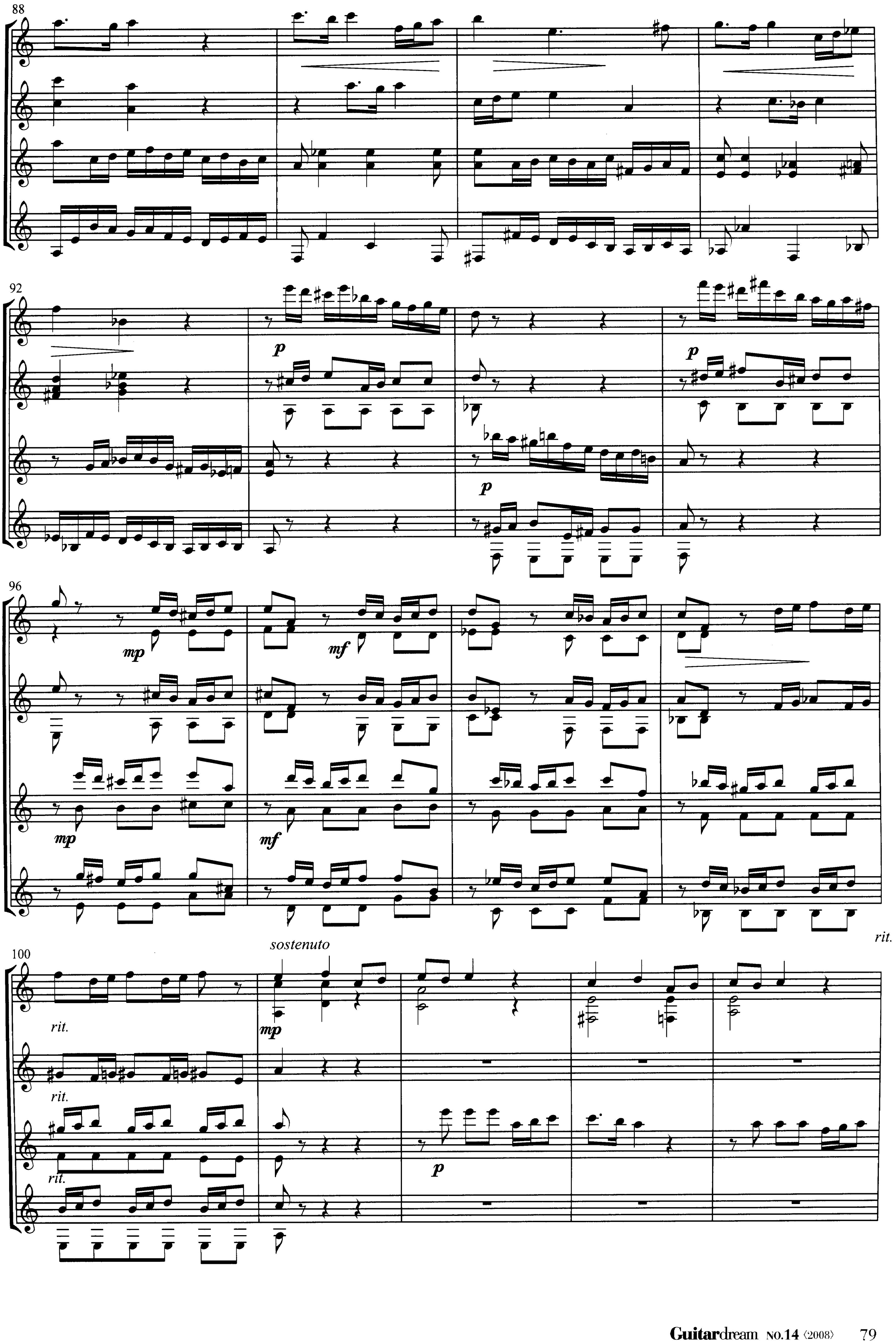
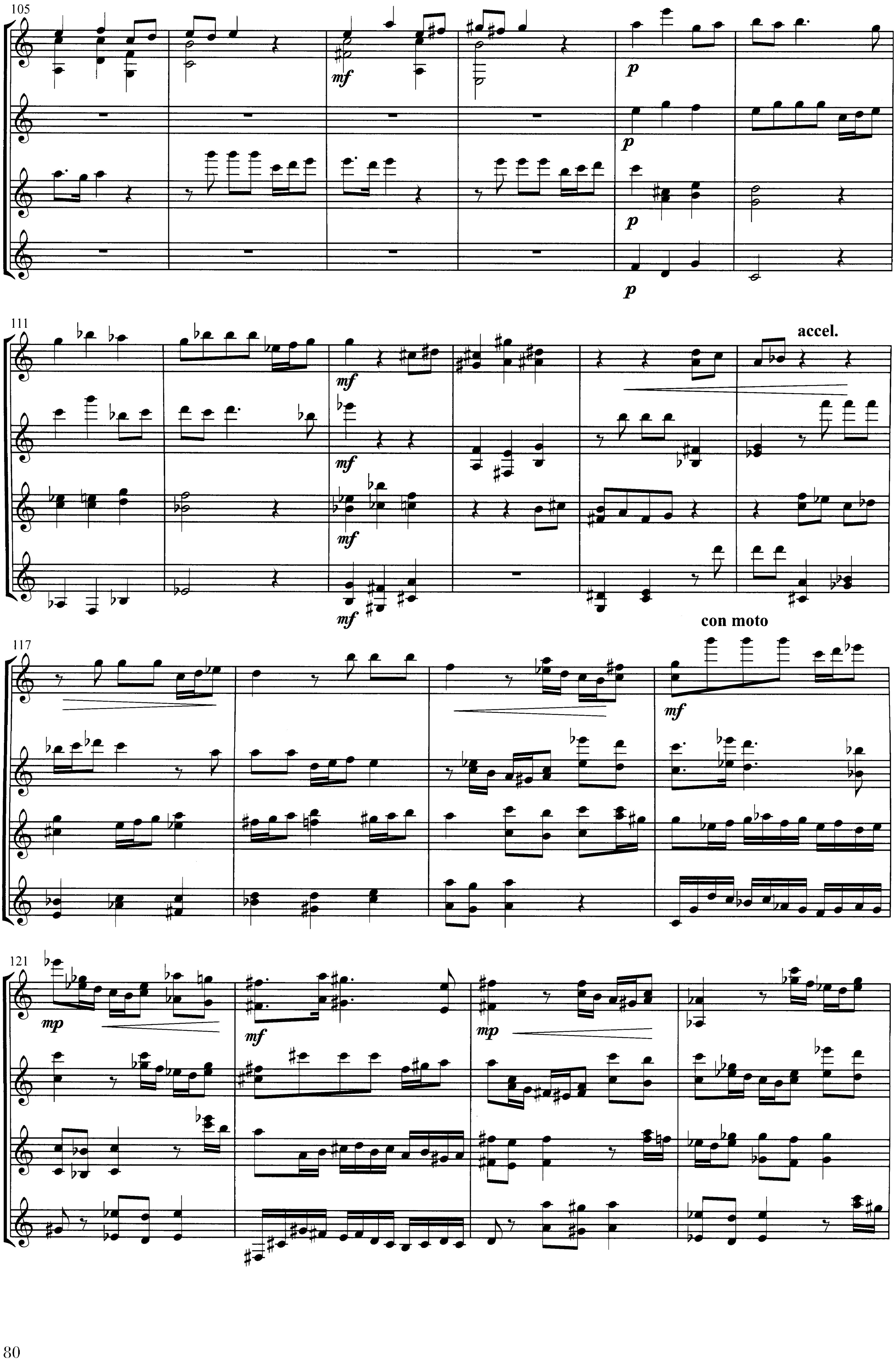
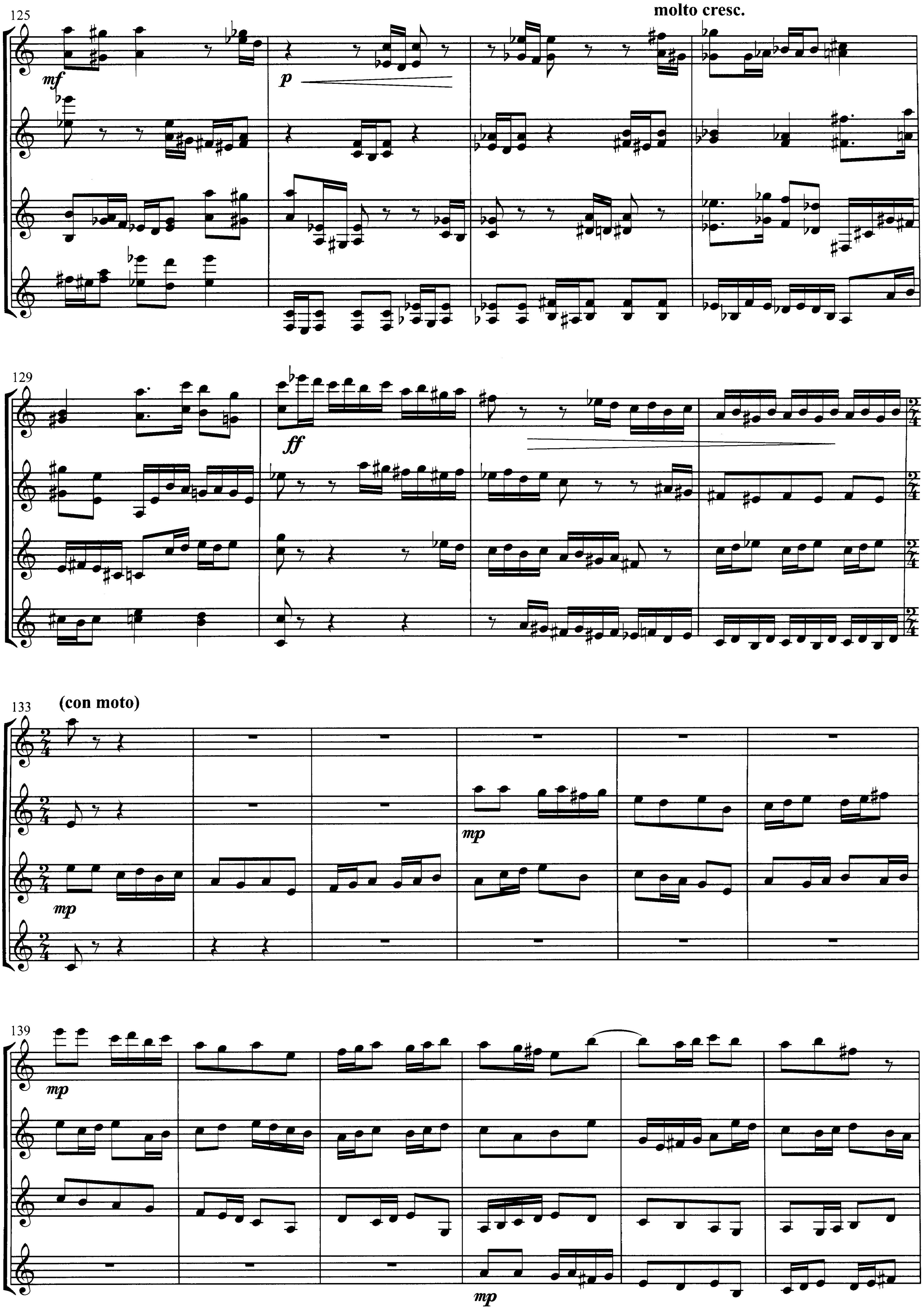
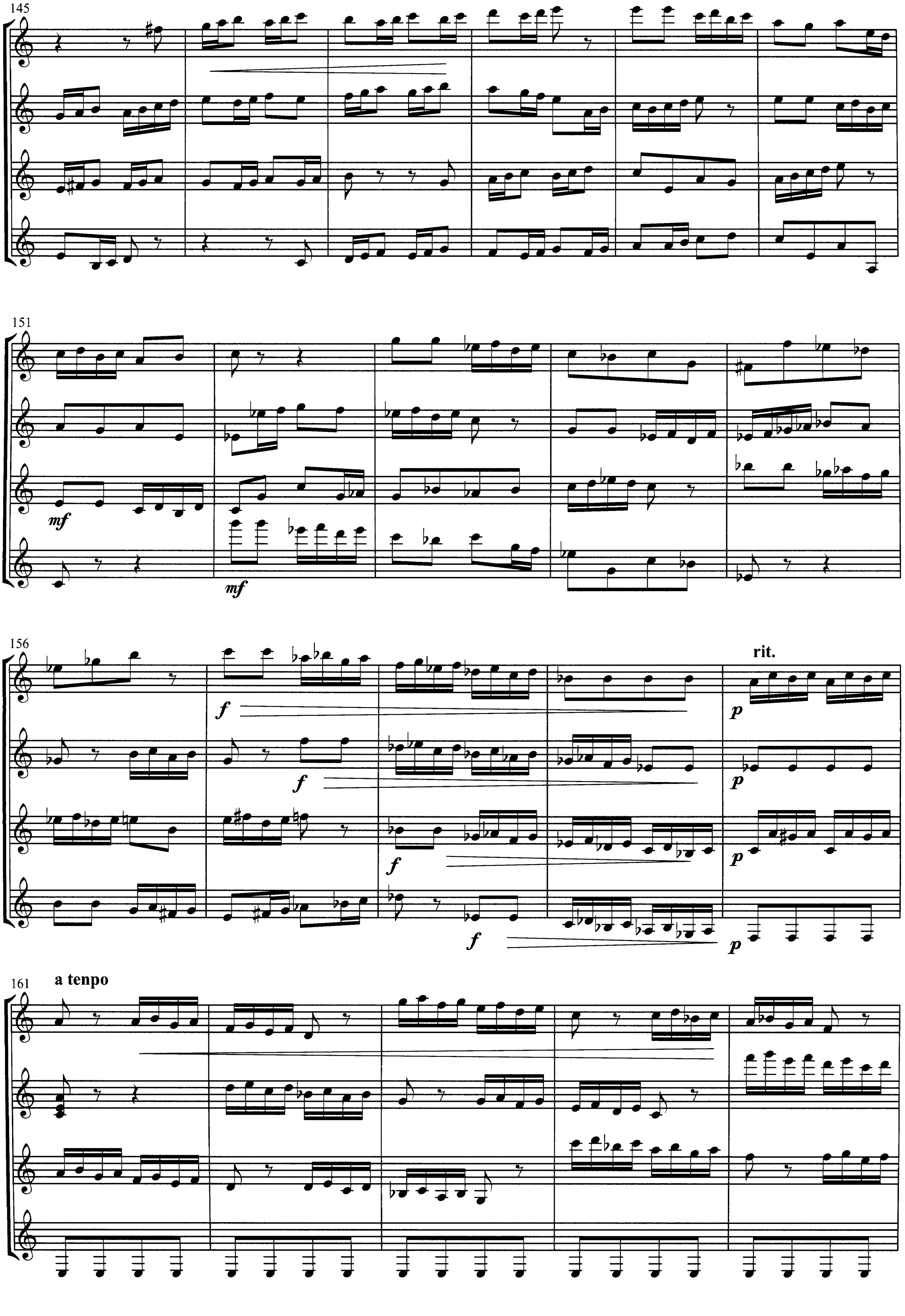
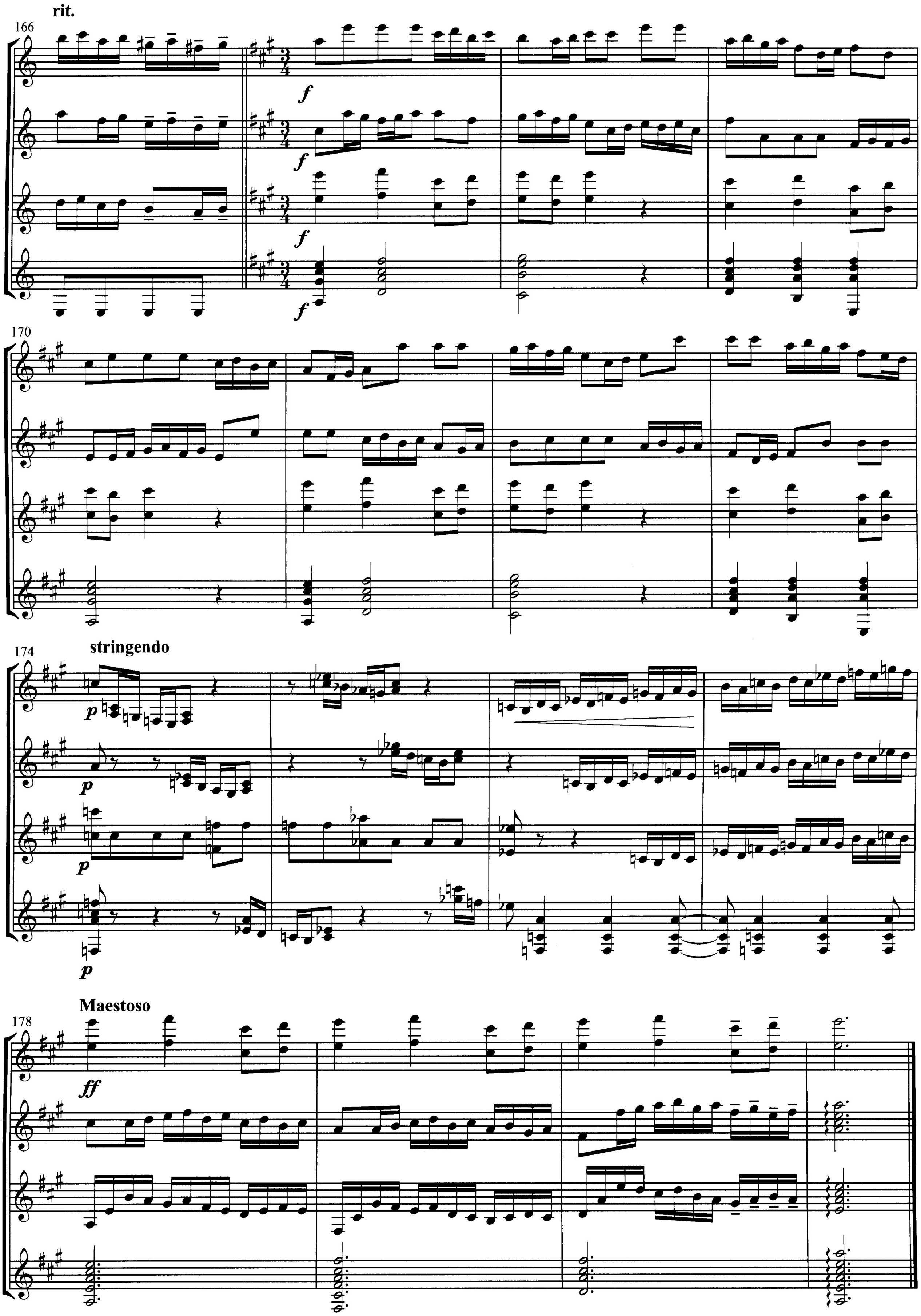
In memorium of Maestoro Masaru Kohno

Chanson de vent

pour quatre guitares

風の詩

河野 賢先生に捧ぐ

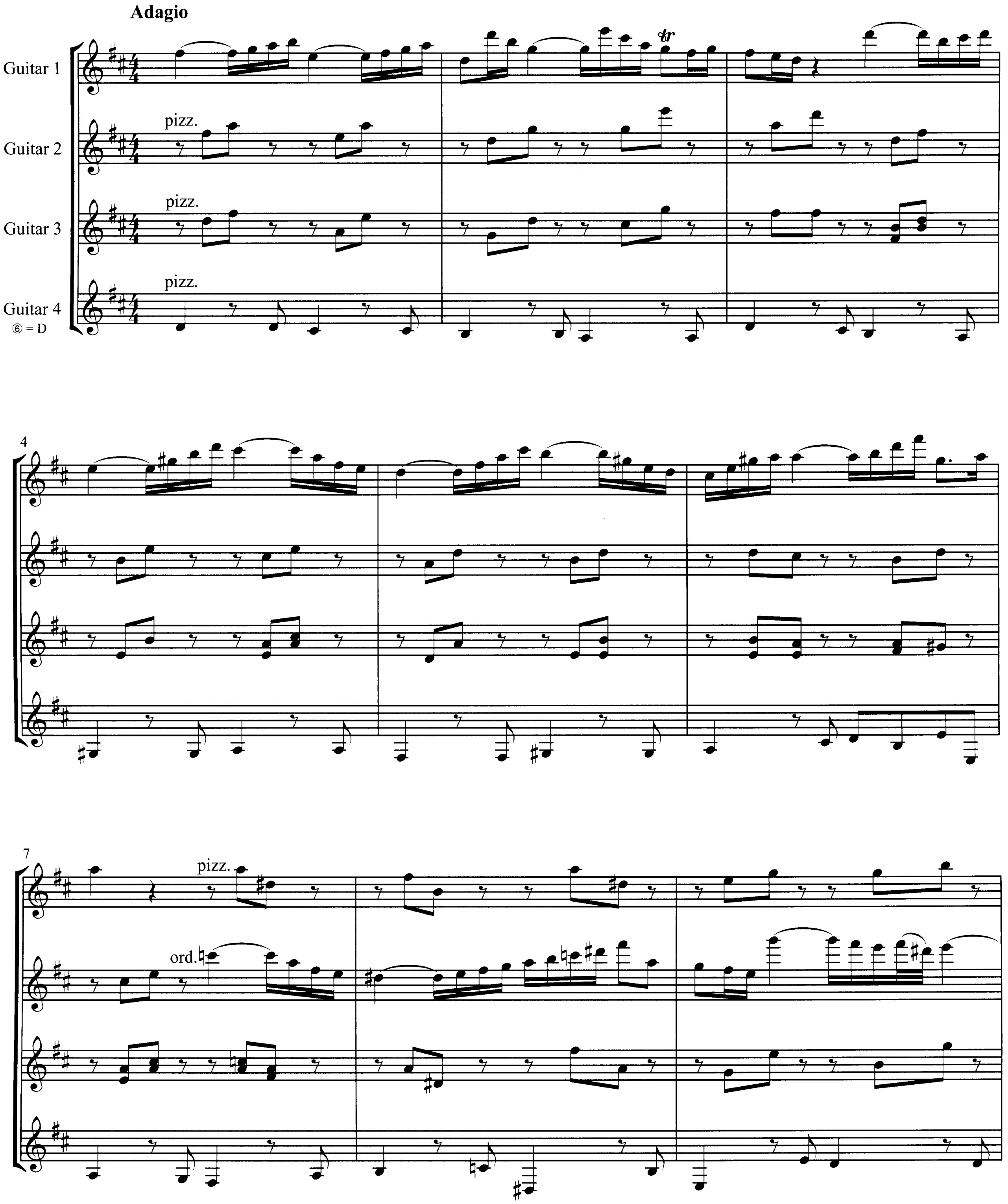
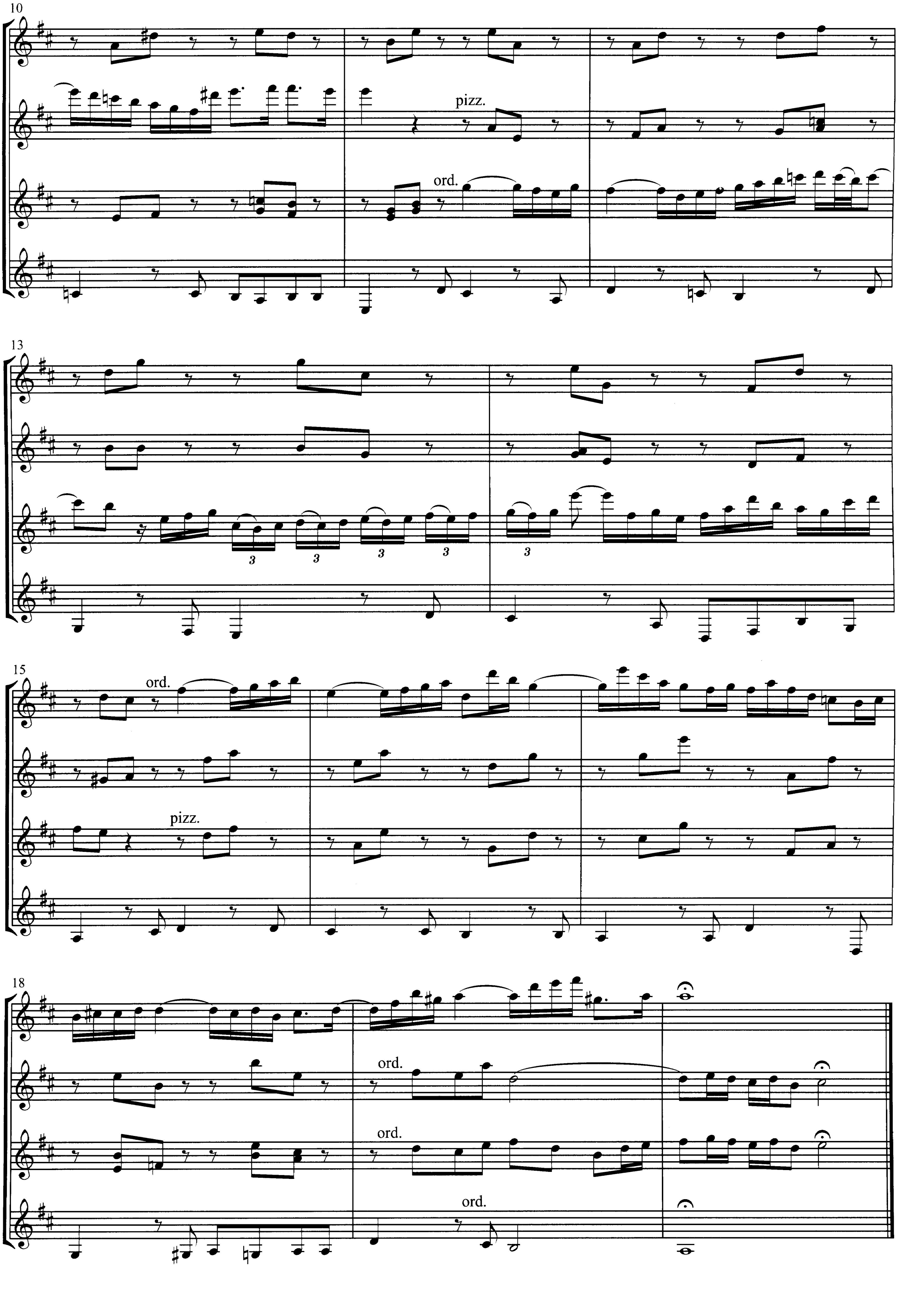
Jun-ichi Nihashi
(1999)

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

13
mp
mp
mp
18
mp
p
mp
mf
mf
22
mp
26
rit.
sostenuto
p
p

32
mp
mf
p
mp
39
mf
mp
rit.
a tempo
f
46
più mosso
mp
52
mf
f

56
mf
mp
poco a
poco cresc.
f
60
64
f
68
ff
decres.
p

72
76
Tempo I
mp
p
p
p
80
84

88
92
p
p
p
96
mp
mf
mp
mf
100
sostenuto
rit.
rit.
rit.
rit.
mp
p

105
111
accel.
117
con moto
121

125
mf
p
molto cresc.
129
ff
133
(con moto)
mp
mp
139
mp
mp

145
151
mf
mf
156
f
f
f
f
rit.
p
p
p
p
161
a tenpo

rit.
166
f
170
174
stringendo
p
178
Maestoso
ff

14 付録CD トラックNo.

Arioso

カンタータ第156番

Johann Sebastian Bach
BWV 156

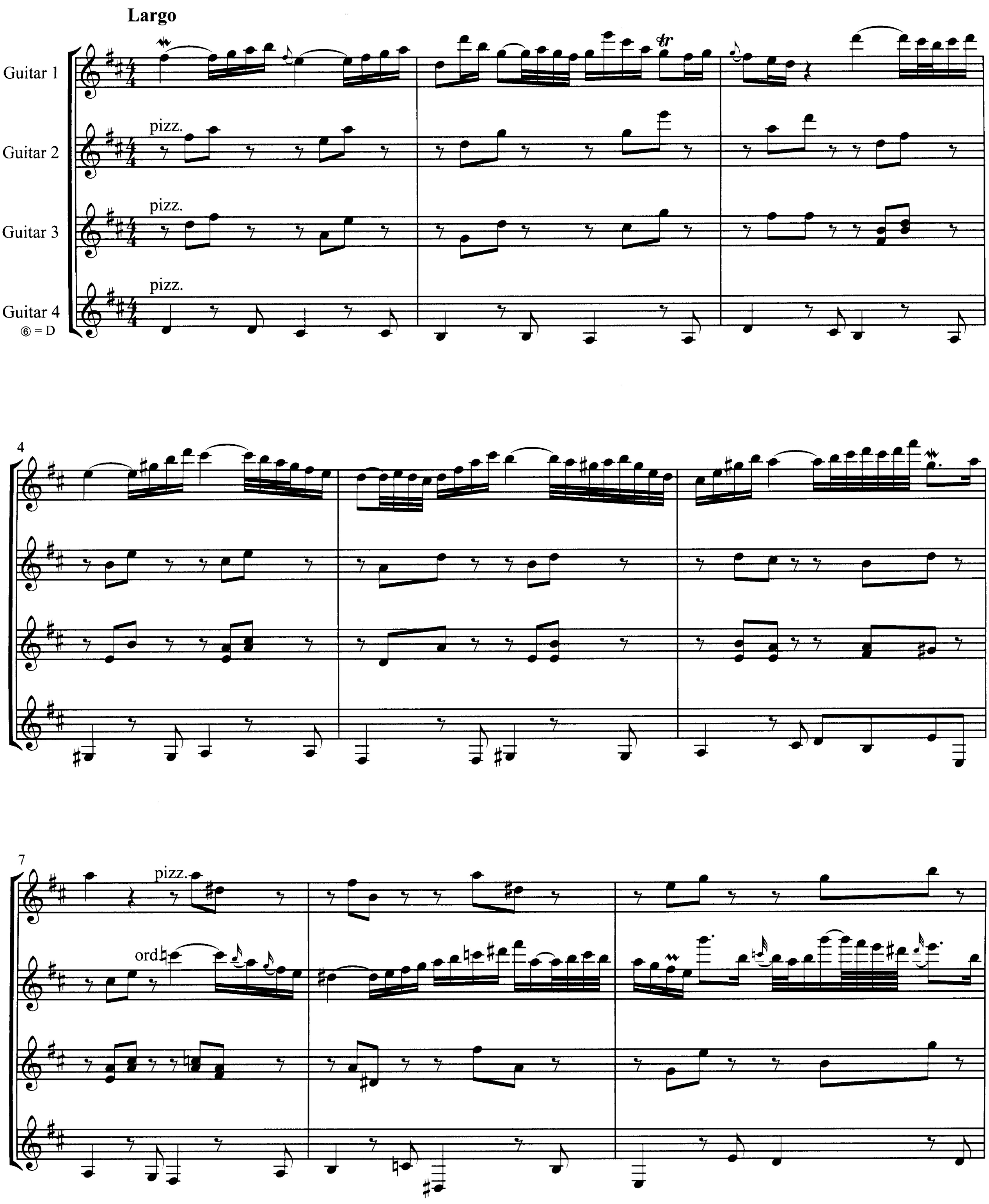
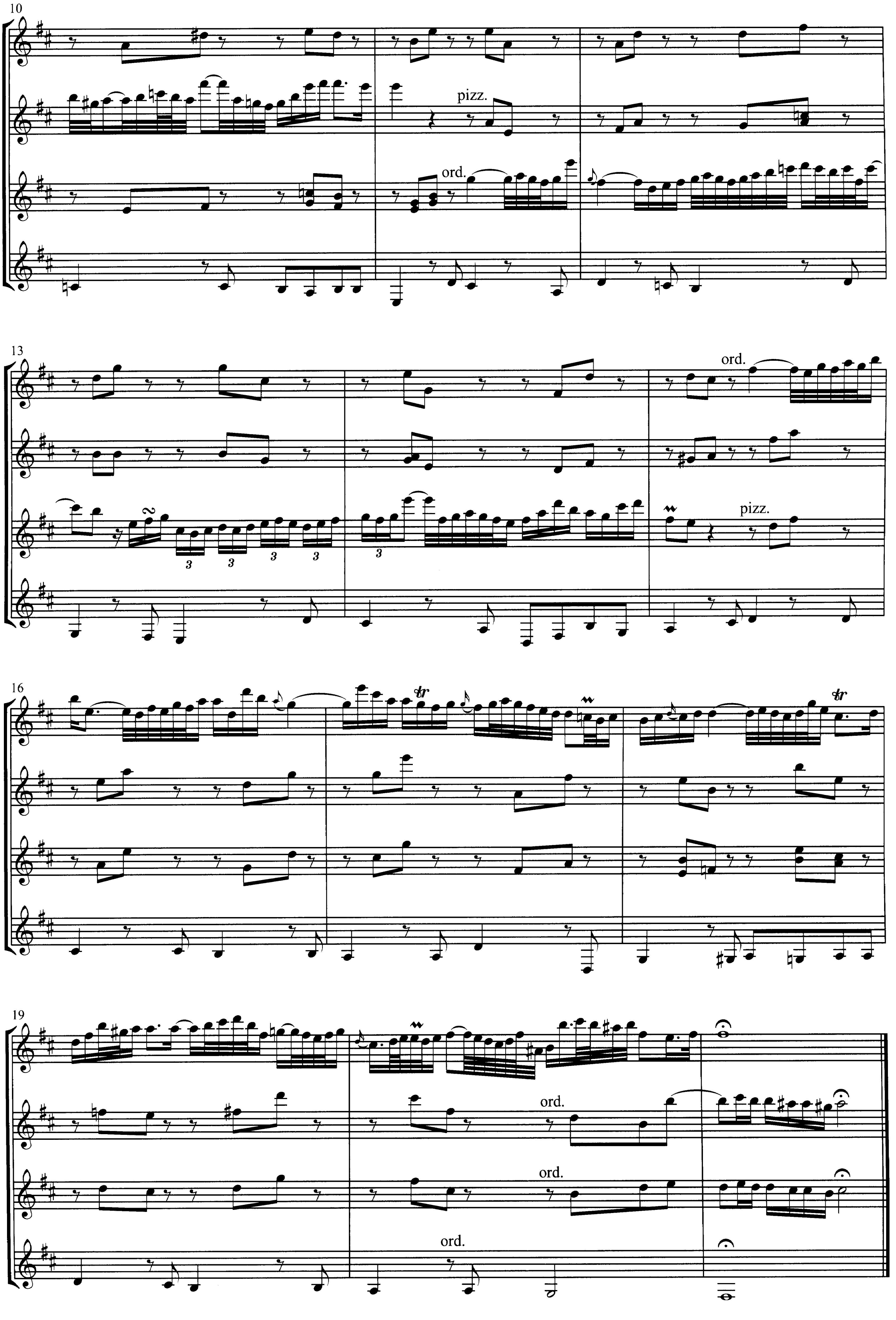
Arranged for four guitars by Ippo Tsuboi

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

10
pizz.
ord.
13
3
3
3
3
3
15
ord.
pizz.
18
ord.
ord.
ord.

15 付録CD トラックNo.

Arioso

チェンバロ協奏曲第5番第2楽章

Johann Sebastian Bach
BWV 1056

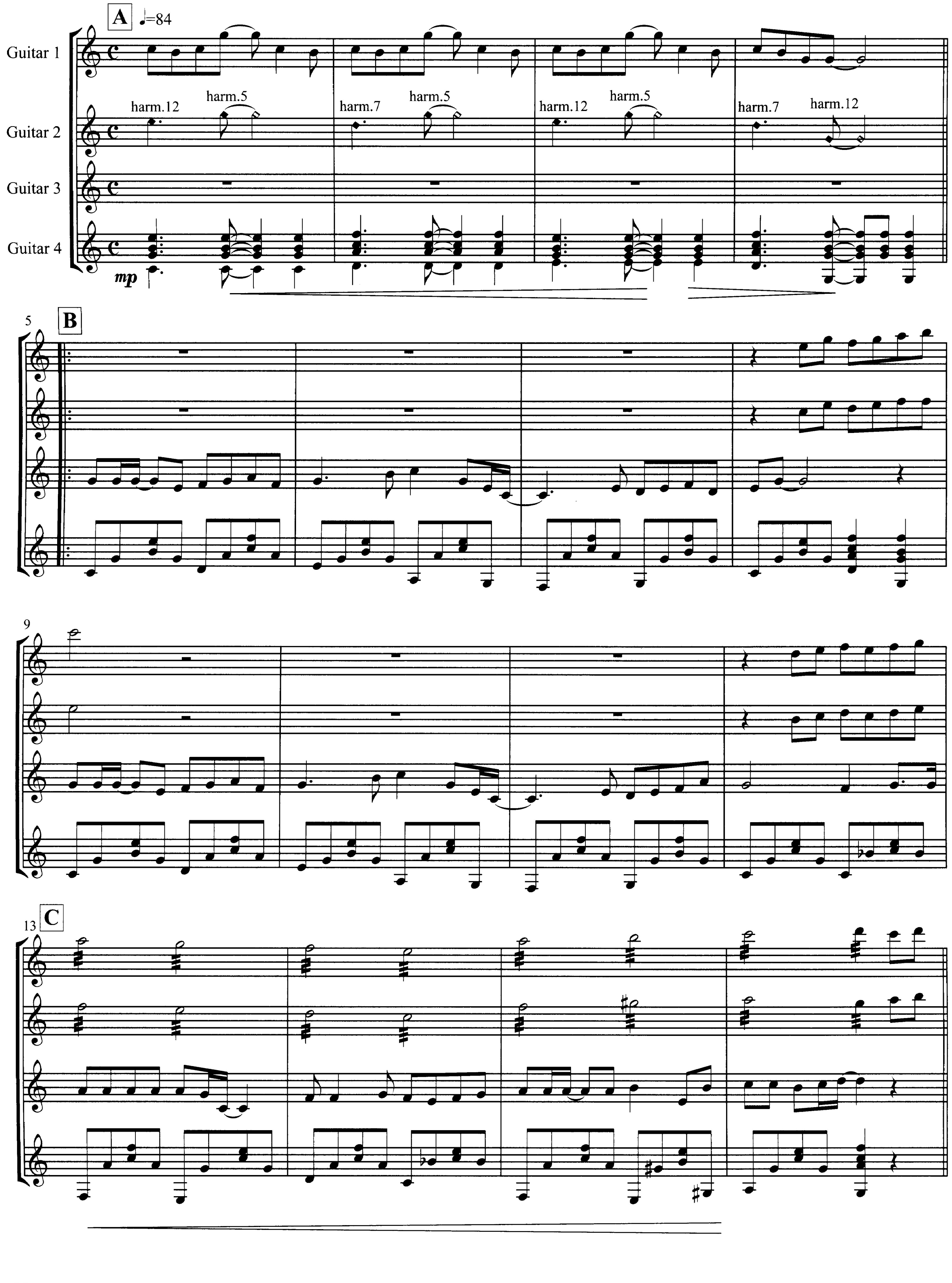
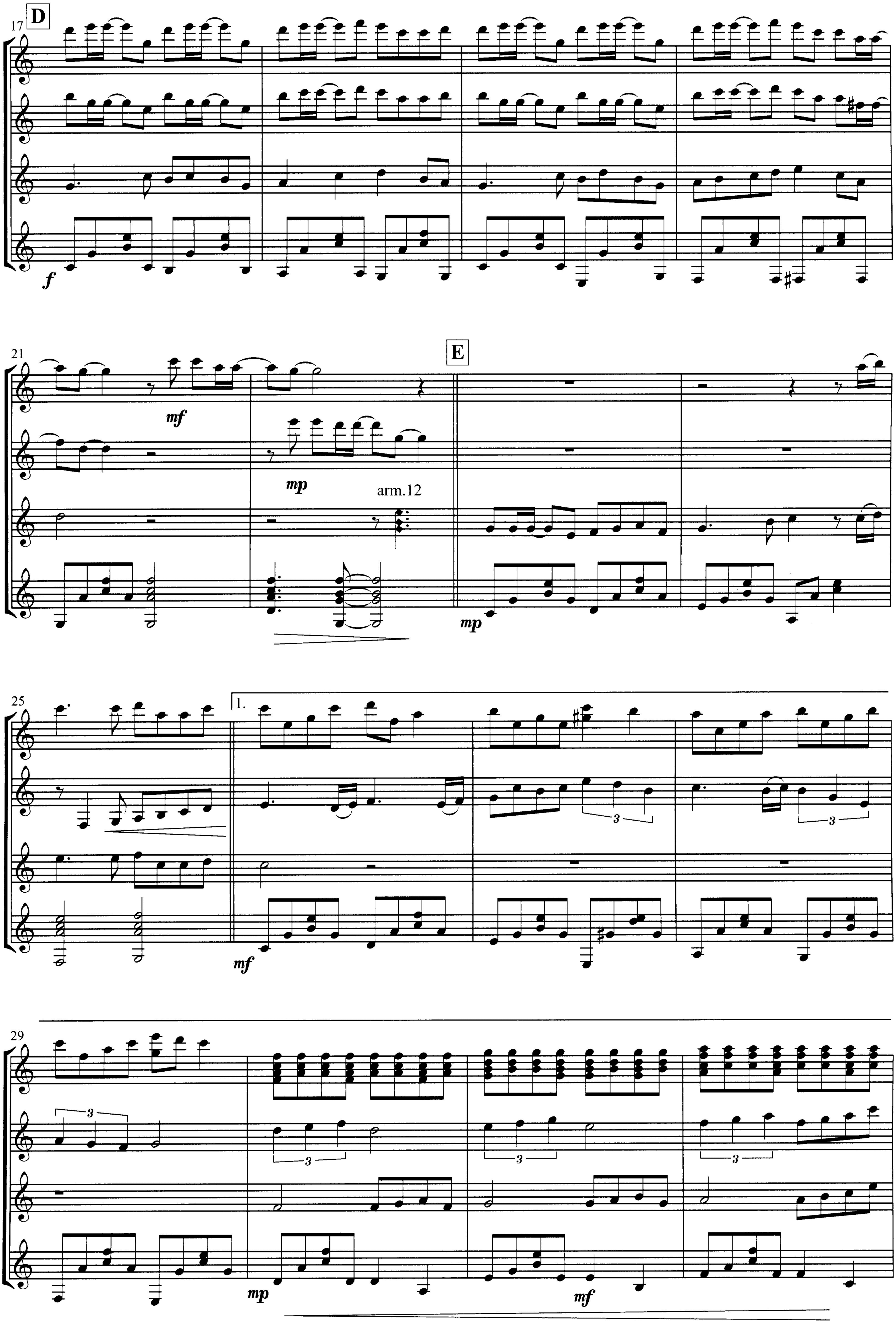
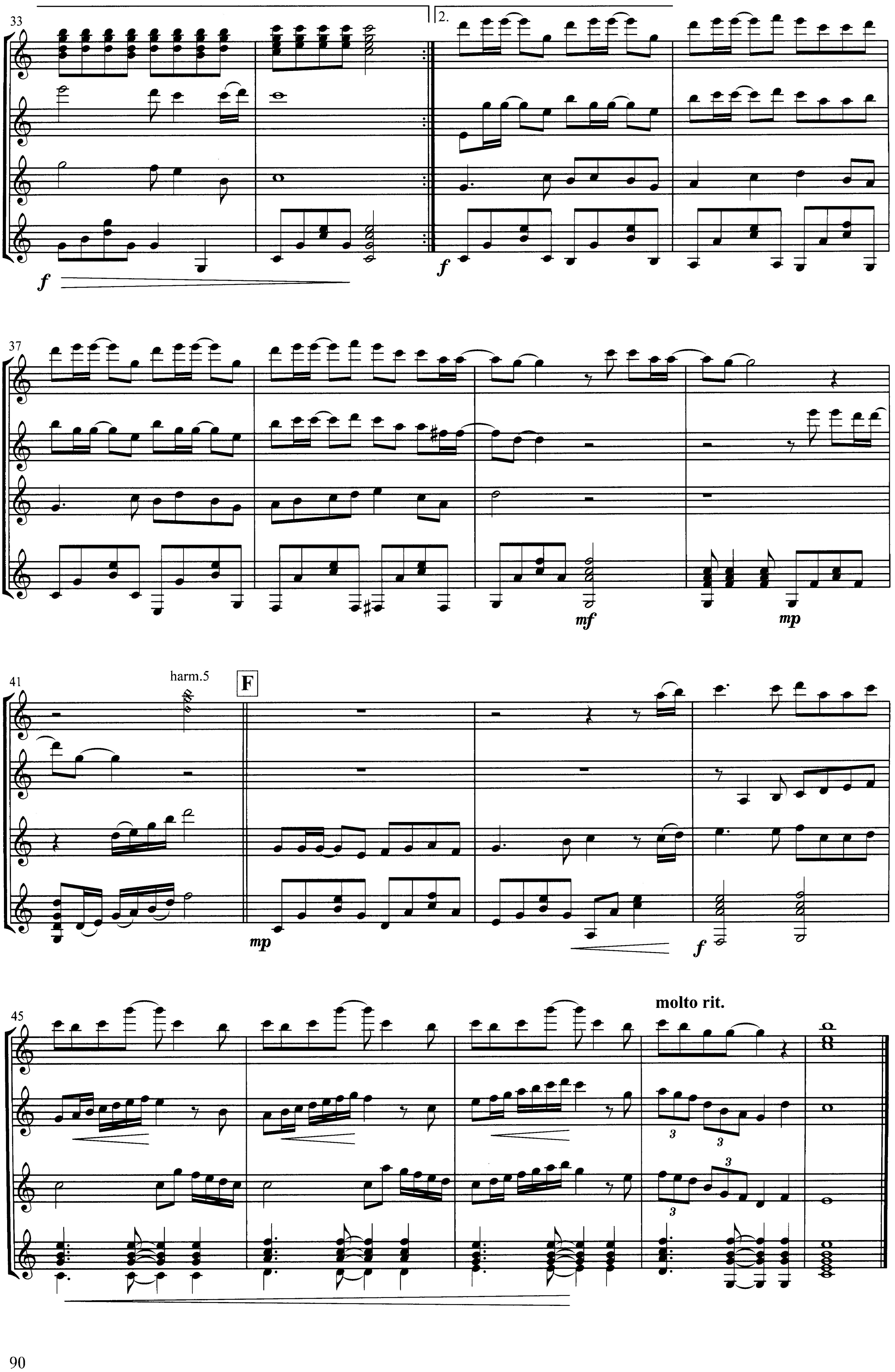
Arranged for four guitars by Ippo Tsuboi

© Copyright 2008 by HOMA dream Inc. Tokyo
International Copyright Secured.
All Rights Reserved. Printed in Japan.

10
pizz.
ord.
13
ord.
pizz.
3
3
3
3
3
16
19
ord.
ord.
ord.

16 付録CD トラックNo.

Red Sweet Pea

赤いスイートピー

Karuho Kureta

Arranged for four guitars by Nobuyuki Hirakura

D
17
f
21
mf
mp
arm.12
E
mp
25
1.
3
mf
29
mp
mf

33
2.
f
f
37
mf
mp
41
harm.5
F
mp
f
45
molto rit.
3